

岡崎市

みんなでつくる地域活動拠点施設 (仮称)岩津センター

第1回 ワークショップ

令和7年 9月7日

1. 本日のスケジュール

時 間	内 容	詳 細
10:00 ~	開会のあいさつ	 <ul style="list-style-type: none">・開会のあいさつ
10:01 ~ (19分)	<p>説明事項</p> <p>ワークショップについて 岩津地域の現況特性 コミュニティ施設の概要 本日のワークショップの進め方</p> 	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップの目的・趣旨・今後のスケジュールや討議テーマ・岩津地域の人口、都市機能の立地状況、上位計画の位置づけ・対象施設の概況・ワークショップのルール・本日のワークショップの進め方について説明
10:20 ~ (10分)	参加者の自己紹介	<ul style="list-style-type: none">・各グループで自己紹介
10:30 ~ (60分)	<p>ワークショップ</p> <p>岩津地域の評価 (よいところ・悪いところ) 各施設の評価 (よいところ・悪いところ)</p> 	<ul style="list-style-type: none">・買い物・医療等の都市サービス、公共交通サービス、道路交通等の現状について討議・対象施設の利便性について討議・各グループの代表よりワークの結果を発表・共有(4分×5グループ)・事務局より発表内容を総括
11:30 ~ (25分)	結果の共有・総括	 <ul style="list-style-type: none">・次回の日程など事務局からの連絡事項・閉会のあいさつ
11:55 ~	閉会のあいさつ	 <ul style="list-style-type: none">・次回の日程など事務局からの連絡事項・閉会のあいさつ

2. ワークショップについて

(1) ワークショップの目的・趣旨



地域の皆さんとの声を
地域活動拠点施設(仮称)岩津センター
に反映することを目的に、ワークショップを開催します

- ・ 岩津地域の現状や各施設の現況を踏まえた施設のあり方について討議していただきます
- ・ その討議結果をとりまとめ、地域の皆さんとの声として把握・分析します
- ・ そして、地域活動拠点施設(仮称)岩津センター整備に向け、地域の皆さんとの声を反映させた施設計画の検討材料とします

2. ワークショップについて

(2) 全体スケジュール



ワークショップは3回開催します

第1回ワークショップ(令和7年9月7日(日) 午前10時～12時)

【テーマ】

- ・ わたしたちのまちの“いいところ”と“ちょっと不便なところ”

第2回ワークショップ(令和7年9月28日(日) 午前10時～12時)

【テーマ】

- ・ こんな場所があったら、もっと暮らしが楽しくなる！

第3回ワークショップ(令和7年10月19日(日) 午前10時～12時)

【テーマ】

- ・ みんなでつくる“わたしたちの拠点”

2. ワークショップについて

(3) ワークショップの意義

ワークショップって？

意見を出し合い、共有しながら検討を深めていく場



- ・ 色々な立場や年齢、志向の方が参加しています
- ・ 本日のワークショップは、色々な方がそれぞれの想いを自由に意見を出し合う場所です
- ・ 周りの人の意見を聞きながら、情報を共有しながら議論を深めましょう

一方的な情報提供、質疑(説明会)のような場でなく
参加者が考え、意見を出し合っていく場です

- ・ 参加者全員がお互いに刺激し合い、学び合う場として楽しめましょう

独りで考えるのではなく**みんなで考えることで
発想が豊かになります！**

2. ワークショップについて

(4) ワークショップのルール



①自由な発想大歓迎(今までの概念を取り払おう！)

②他人のアイデアに便乗して考えよう

③他人の発言を批判しない

禁句(言ってはいけないこと)

実現しない. 空想的だ. くだらない. わかりきっている.
コストがかかる. 意味がない. 以前やって失敗した. など

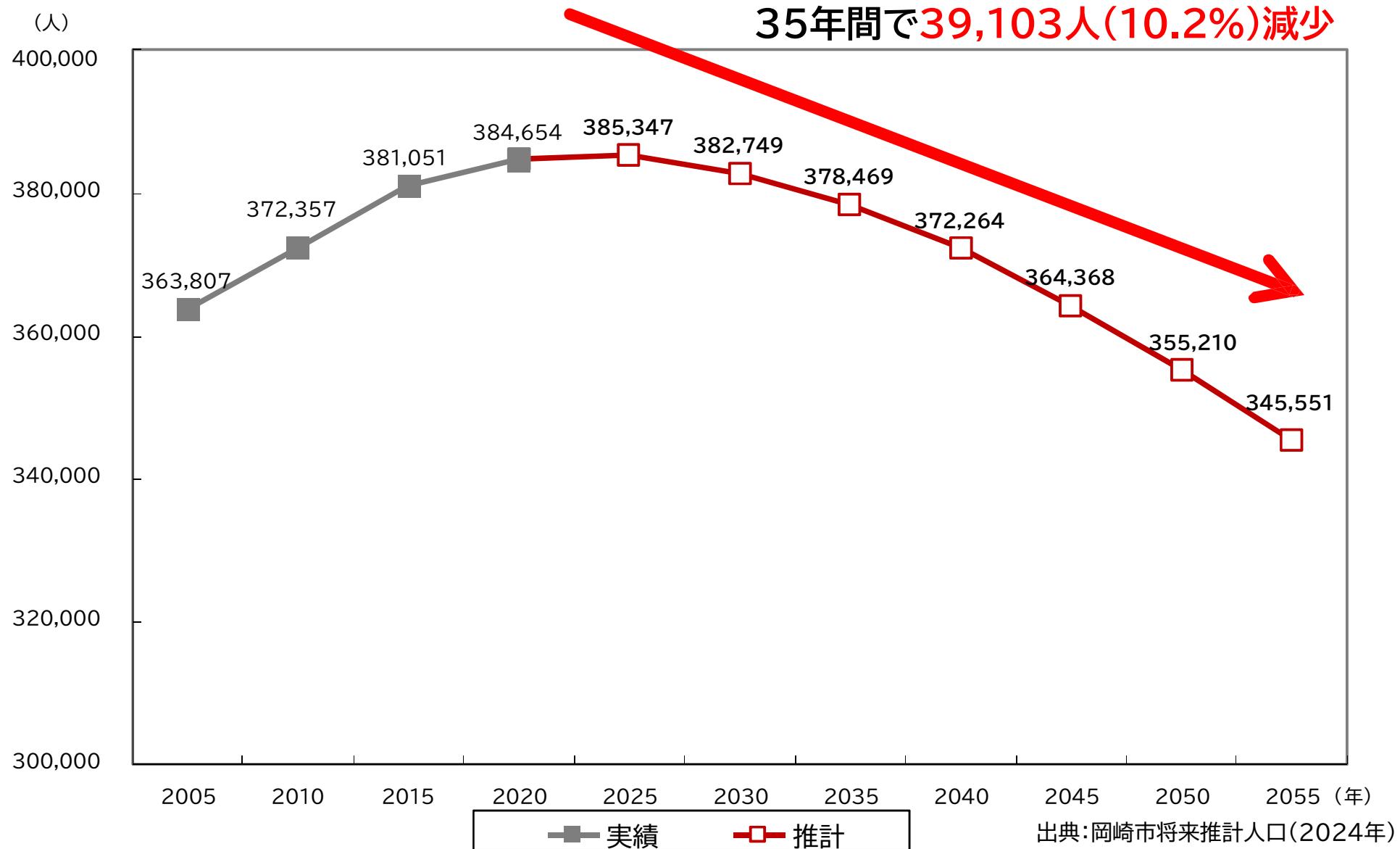
④一人でしゃべり続けない(大事な時間をみんなで有効に)

⑤進行役に協力を！

縁あって集まった“仲間”！みんなでいい話し合いましょう！

3. 岡崎市・岩津地域の現状

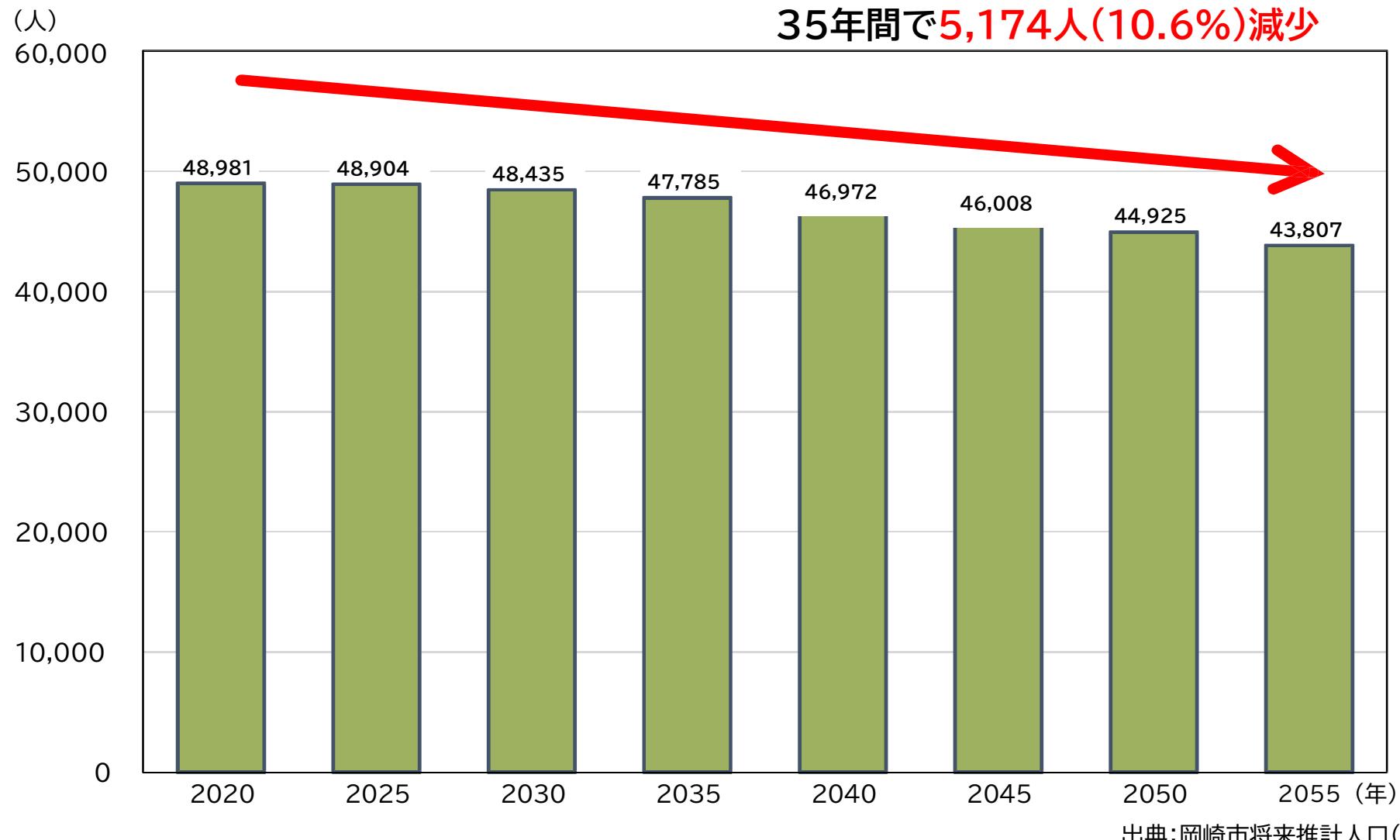
(1) 岡崎市の将来人口の推計



3. 岡崎市・岩津地域の現状

(2) 岩津地域の人口

1) 将来人口の推計



3. 岡崎市・岩津地域の現状

(2) 岩津地域の人口

2) 小学校区別人口・世帯数(令和7年8月現在)

	奥殿学区	恵田学区	細川学区	岩津学区	大樹寺学区	大門学区
男性	893	476	5,095	3,909	6,431	6,525
女性	866	439	5,031	3,915	6,397	5,991
合計	1,759	915	10,126	7,824	12,828	12,516
	3.8%	2.0%	22.0%	17.0%	27.9%	27.2%
世帯数	673	329	4,123	3,355	6,039	5,724

3) 支所別人口・世帯数(令和7年8月現在)

	本 庁	岡崎支所	大平支所	東部支所	岩津支所	矢作支所	六ツ美支所	額田支所
男性	56,392	29,929	16,025	10,069	24,199	30,601	22,480	3,576
女性	56,410	29,815	15,706	9,861	23,499	27,964	21,494	3,568
合計	112,802	59,744	31,731	19,930	47,698	58,565	43,974	7,144
	29.6%	15.7%	8.3%	5.2%	12.5%	15.3%	11.5%	1.9%
世帯数	52,204	26,600	14,413	9,106	21,025	27,083	19,151	3,057

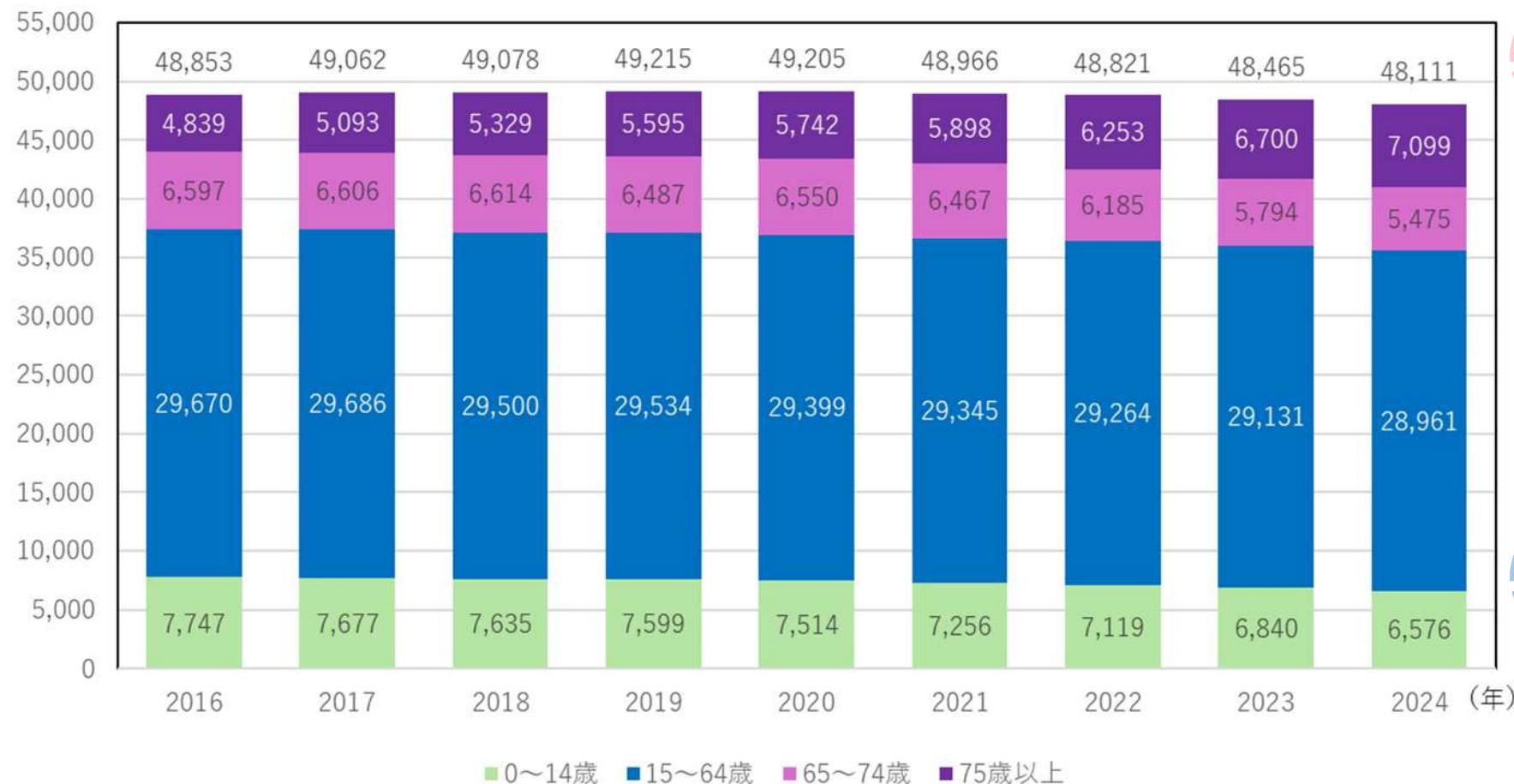
出典:住民基本台帳人口

3. 岡崎市・岩津地域の現状

(2) 岩津地域の人口

4) 年齢4区分別人口

(人)



75歳以上
(後期高齢者)は
増加傾向

0~14歳
(年少人口)は
減少傾向

出典:住民基本台帳人口(各年10月1日)

3. 岡崎市・岩津地域の現状

(3) 30年後の未来に向けて

- 将来社会の見通しに加え、歴史や将来推計人口などの地域特性を踏まえて、30年の将来都市像を構想



出典:第7次岡崎市総合計画(2021年)

3. 岡崎市・岩津地域の現状

(3)30年後の未来に向けて

1)将来都市像

「一步先の三河を拓く 中枢・中核都市おかざき」

三河地域において人口規模を増加・維持する取組が効果を発揮し、
行政・学研機能や更なる商業機能の集積、
新技術のまちづくりへの活用を通じて、
利便性や先進性の高い暮らしが実現できる都市として、
三河地域の発展を牽引する役割を担っていることを目指す

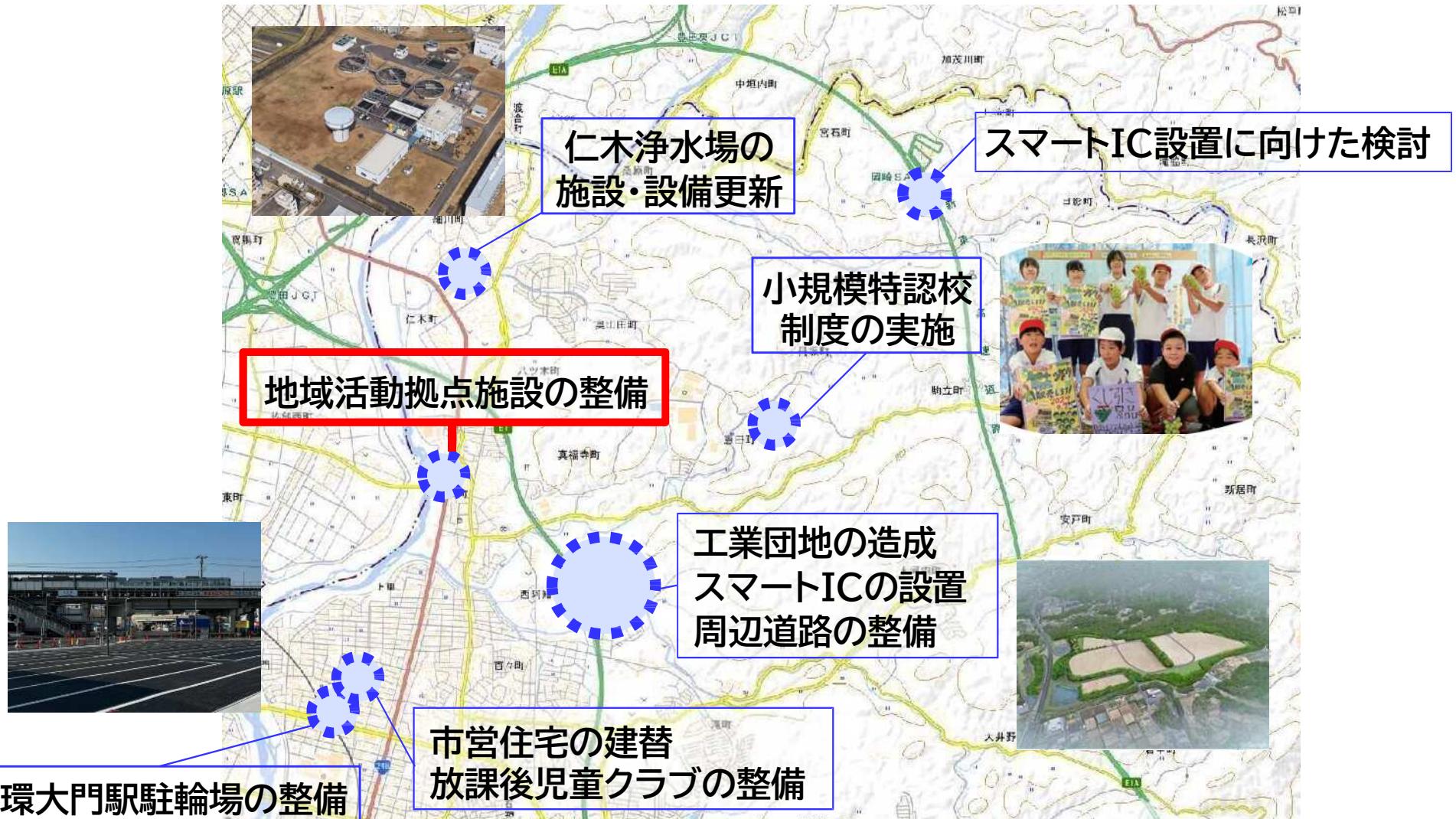


将来都市像の実現に向けて、岡崎市ではさまざまな事業を実施

3. 岡崎市・岩津地域の現状

(3) 30年後の未来に向けて

2) 岩津地域におけるまちづくり



4. 地域活動拠点施設の整備

(1) 施設整備の必要性

- ・全国的に地方公共団体の財政状況は厳しく人口減少が見込まれる中、「新しく造ること」から「賢く使うこと」への転換(国の基本方針)
- ・岩津市民センターは、竣工から48年が経過
- ・北部地域交流センターは竣工から36年が経過
- ・北部地域交流センターは、市がJAあいち三河から土地及び建物を借用
- ・地域住民は、岩津地域活動拠点の早期整備を要望
- ・市の方針は、老朽化対策として建替が必要な場合は建物の複合化を前提



岩津支所・北部地域交流センター・岩津市民センター・北部地域福祉センター
の4つの機能を集約した、

本市“初”の地域活動拠点施設の複合化を計画

4. 地域活動拠点施設の整備

(2) 対象施設の概況

岩津支所

(行政手続き・地域支援・地域防災拠点)



- ・ 岩津地域の住民の方の利便性を図るために設置された窓口
- ・ 出生や婚姻、死亡、転居などの届出を受付
- ・ 税金の証明書を発行
- ・ 選挙のときは期日前投票所を設置
- ・ 災害時は避難所の運営・情報収集を行い災害対策本部と連携

北部地域交流センター

(市民活動支援・指定緊急避難所)



- ・ 市民活動や地域活動を応援する交流拠点
- ・ ボランティアの相談を受付
- ・ 市民活動団体の情報を発信
- ・ 活動室やホールなどを貸出
- ・ 小さな子どもと遊べるプレイルームを設置

岩津市民センター

(生涯学習支援・地域防災拠点)



- ・ 生涯にわたって行う学びの拠点
- ・ 健康スポーツ・文化芸術・料理などさまざまな講座を開催
- ・ 図書室があり、本の貸出や返却、予約資料の受け取りが可能
- ・ 会議室や体育集会室などを貸出
- ・ 図書室などは学習利用が可能

北部地域福祉センター

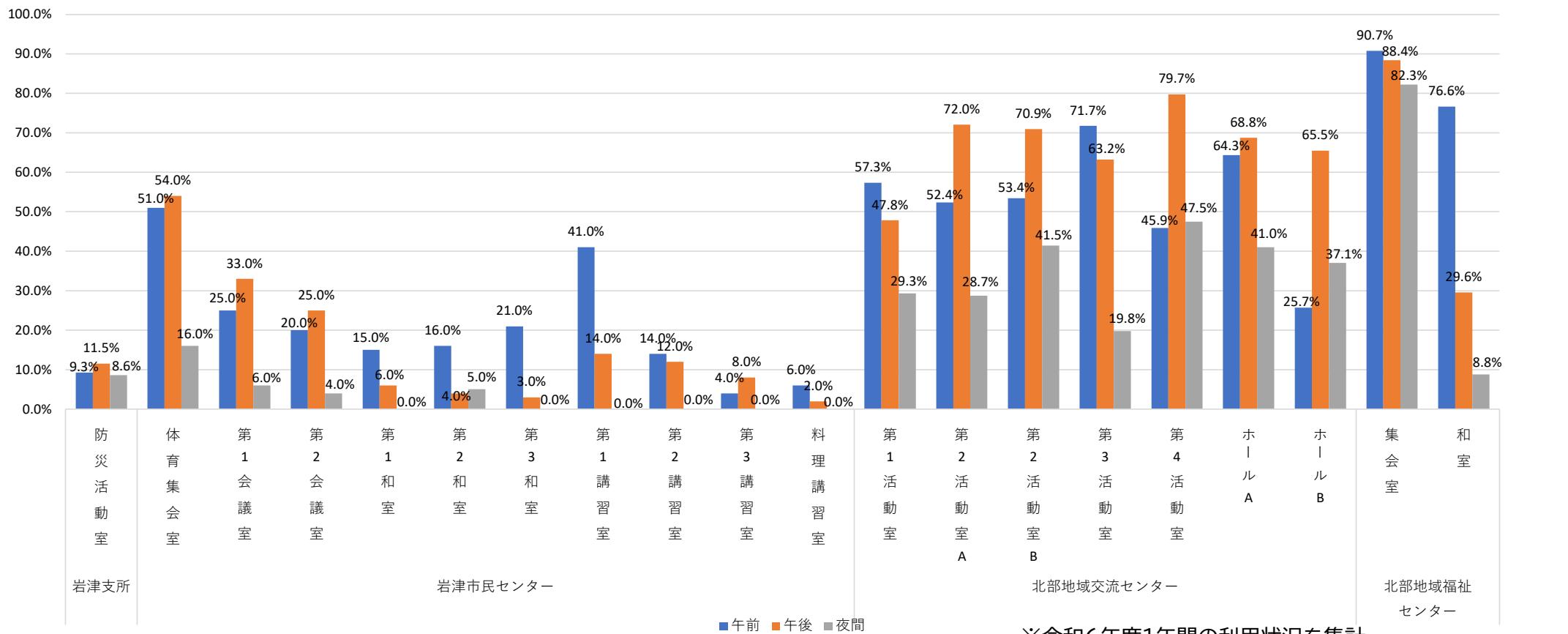
(福祉相談・福祉避難所)

- ・ 高齢者の相談や健康長寿の活動拠点
- ・ 生きがいづくりとしてシルバーカレッジを開催
- ・ 介護が必要な方のケアプランを作成
- ・ 高齢者の生活に関する相談を受付
- ・ 災害時は要配慮者のかたのための二次避難所として開設

4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率

- 対象施設の稼働率を見ると、北部地域交流センターと北部地域福祉センターの稼働率が高く、特に地域福祉センターの「集会室」は、午前が90.7%、午後①が88.4%、午後②が82.3%といずれの時間帯も他の施設と比べて稼働率が最も高い
- 一方、岩津支所の「防災活動室」の稼働率は一番高い午後でも11.5%と低く、また、岩津市民センターも「体育集会室」のみ午前・午後とも50%を超えていているが、それ以外の稼働率は低い



※令和6年度1年間の利用状況を集計

※北部地域福祉センターの利用区分は午前・午後①・午後②

4. 地域活動拠点施設の整備

(4) 整備予定地の概況



- ・ 岩津市民センター用地及び北部地域学校給食センター跡地(岩津町)
- ・ 国道248号沿い
- ・ 令和7年7月に岩津交番が移転
- ・ 施設整備後の交通量を見込んで国道248号の交差点を改良済
- ・ 敷地面積は約8,500m²

<参考>

北部地域交流センター: 約4,670m²

北部地域福祉センター: 約6,550m²

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

1) 基本計画の策定に向けた意見集約の実施

- 地域の皆さんや施設を利用するかたなどが期待する機能を把握

■地域懇談会

- 地域が抱える課題や将来どういったまちにしたいか、そのためには拠点施設にどういった機能を入れたらいいのかについて、地域の皆さんや施設を利用するかたなどと意見交換を実施



第1回地域懇談会(令和6年7月21日)

■意見ボード

- より多くのかたに拠点施設整備について知っていただき皆さん の「声」を広くお聴きするため、拠点施設に入れたい機能などを記入し、貼り付けられる意見ボードを設置



メグリア北斗店の設置状況(令和6年7月14日)



テキストマイニングによる頻出キーワードの抽出結果



地域懇談会、個別懇談会…1,350件

意見ボード…3,933件

QRコード…279件

合計5,562件

※ユーザー一ヵ月AIテキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

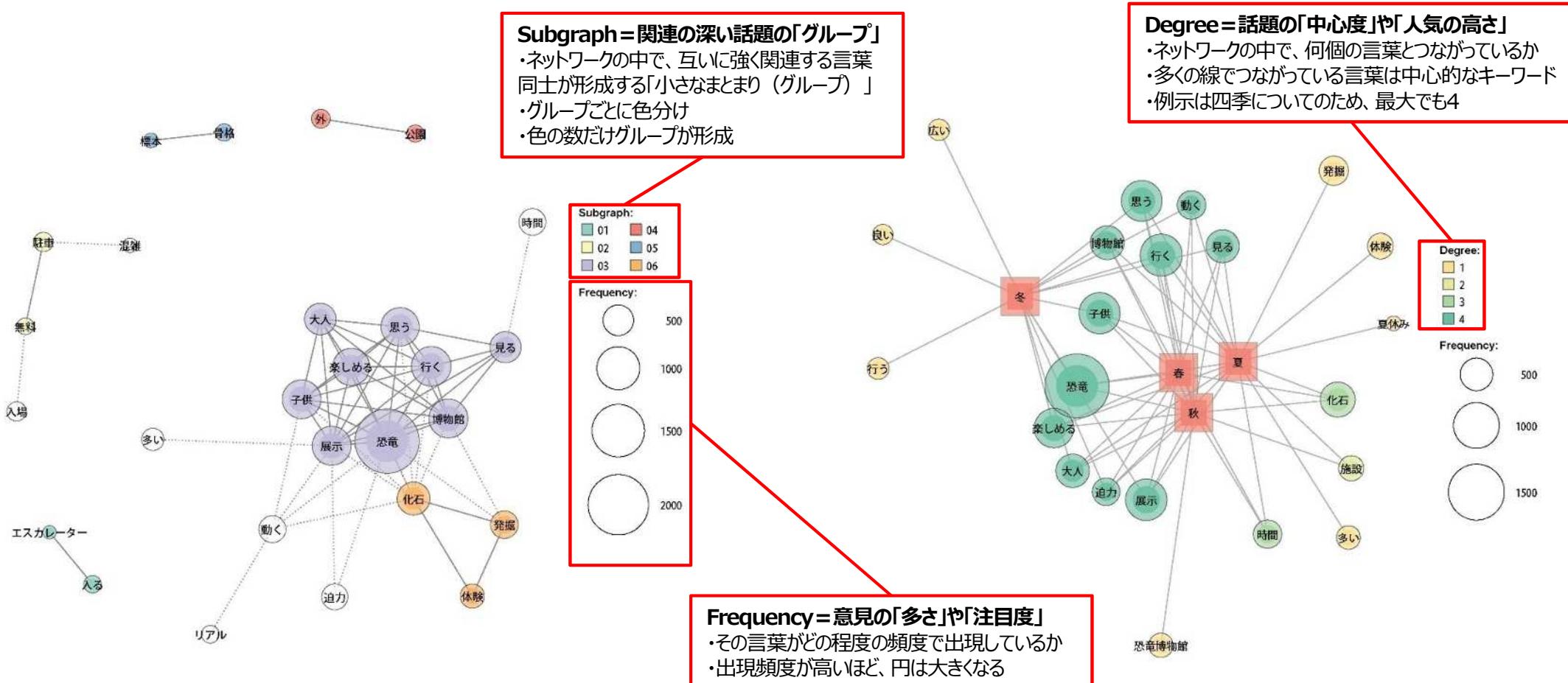
4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見分析

- 全意見・カテゴリー別・地域別の共起ネットワーク図を作成

【共起ネットワーク図の簡単な見方】 ※本ページの共起図は岡崎市の意見集約結果とは関係ありません

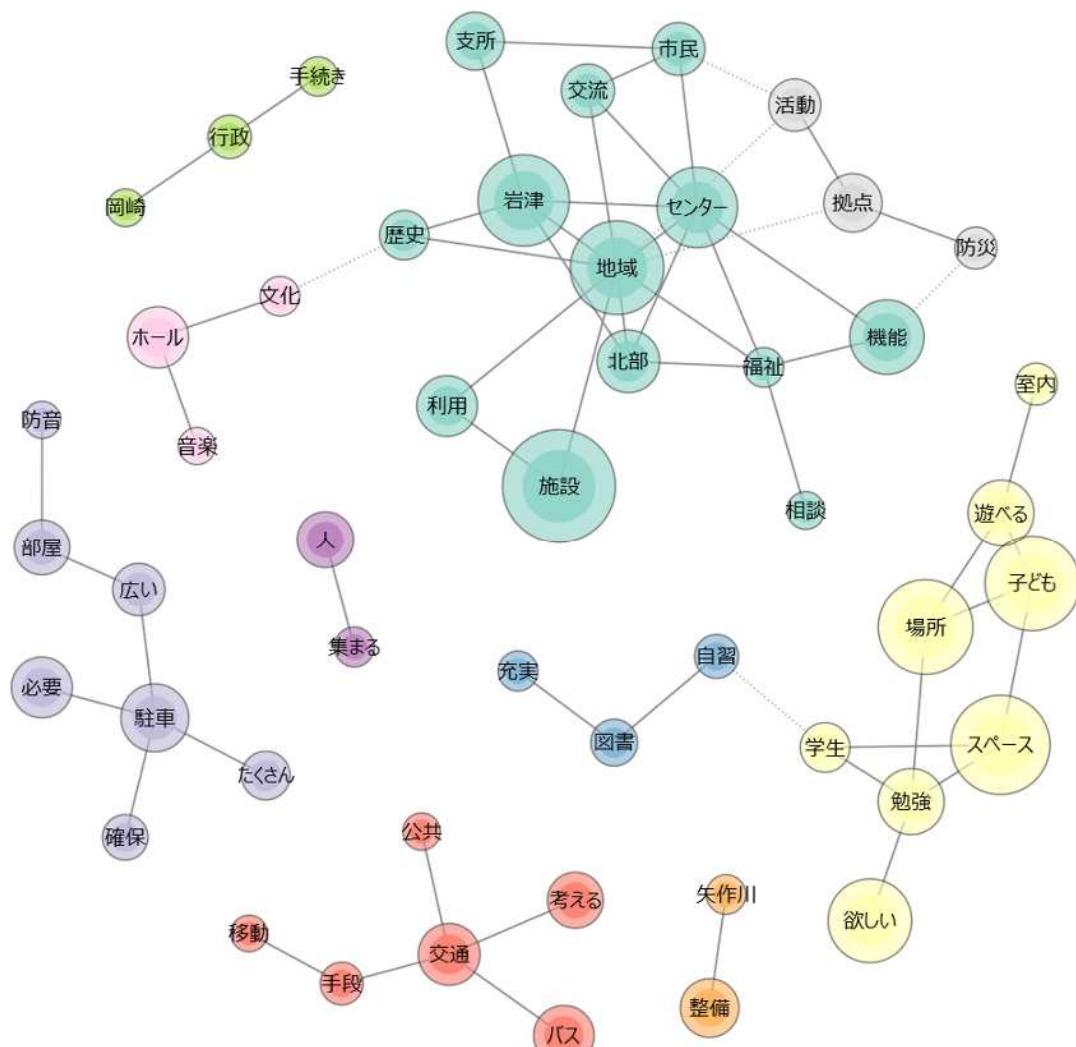


4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見分析

【全意見に対する共起ネットワーク図】



【読み取れる特徴（グルーピング）】

- 1 : 市民が利用できる施設（相談できる福祉機能・交流できる）、歴史、文化
- 2 : 子どもが遊べる場所、学生の勉強スペース（室内）
- 3 : 駐車場の確保（広い・たくさん）
広い防音の部屋
- 4 : 公共交通の手段を考える（バス）
- 5 : 充実した図書館（自習できる）
- 6 : 矢作川の整備
- 7 : 岡崎の行政手続き
- 8 : 音楽ホール、文化ホール
- 9 : 防災の拠点、活動の拠点（市民活動・防災機能）
- 10 : 人が集まる

【考察、まとめ】

分析結果から読み取れる、求められている機能として、基本的な機能（行政手続き・福祉機能・交流）に加えて、以下のものが考えられる。

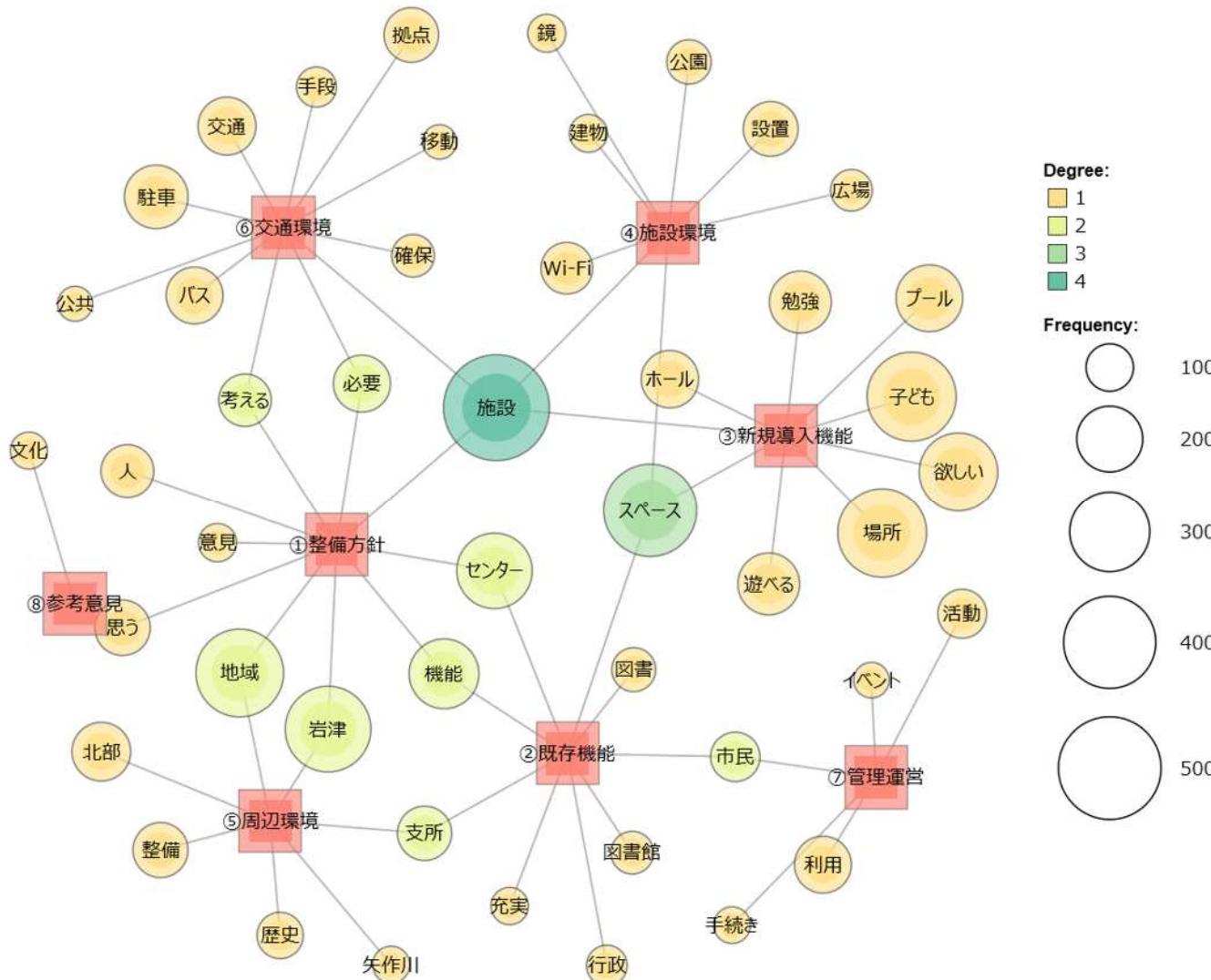
- ・勉強、自習スペース（特に学生）
- ・子どもが遊べる空間（室内でも遊べる空間）
- ・広くて、駐車可能台数の多い駐車場
- ・防災活動の拠点となる施設
- ・人が集まる空間
- ・交通手段の検討（バスなど）
- ・岩津の歴史や文化に関する施設
- ・文化、音楽ホール
- ・矢作川と一体の整備
- ・充実した図書がある空間
- ・防音の部屋

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見分析

【カテゴリー別の共起ネットワーク図】



【カテゴリー別に読み取れる特徴】

各カテゴリーでどのような機能が求められているかを把握できる。機能や設備に関する様々な意見がある一方で、言葉の出現頻度で見ると多くないものもあるため、注意が必要。

以下、各カテゴリーから読み取れる特徴

①整備方針

⇒岩津地域の住民のことを考える

②既存機能

⇒図書館、行政機能の充実

③新規導入機能

⇒プール、ホール、勉強場所、遊ぶ場所が欲しい
(子ども向けの空間)

④施設環境

⇒広場、公園、Wi-Fi、鏡を設置
建物デザインの工夫

⑤周辺環境

⇒矢作川、歴史に関する整備、岩津地域も含めた整備

⑥交通環境

⇒交通手段の確保 (バス、駐車場)
拠点となる施設

⑦管理運営

⇒手続きで市民が利用できる場所

⑧参考意見

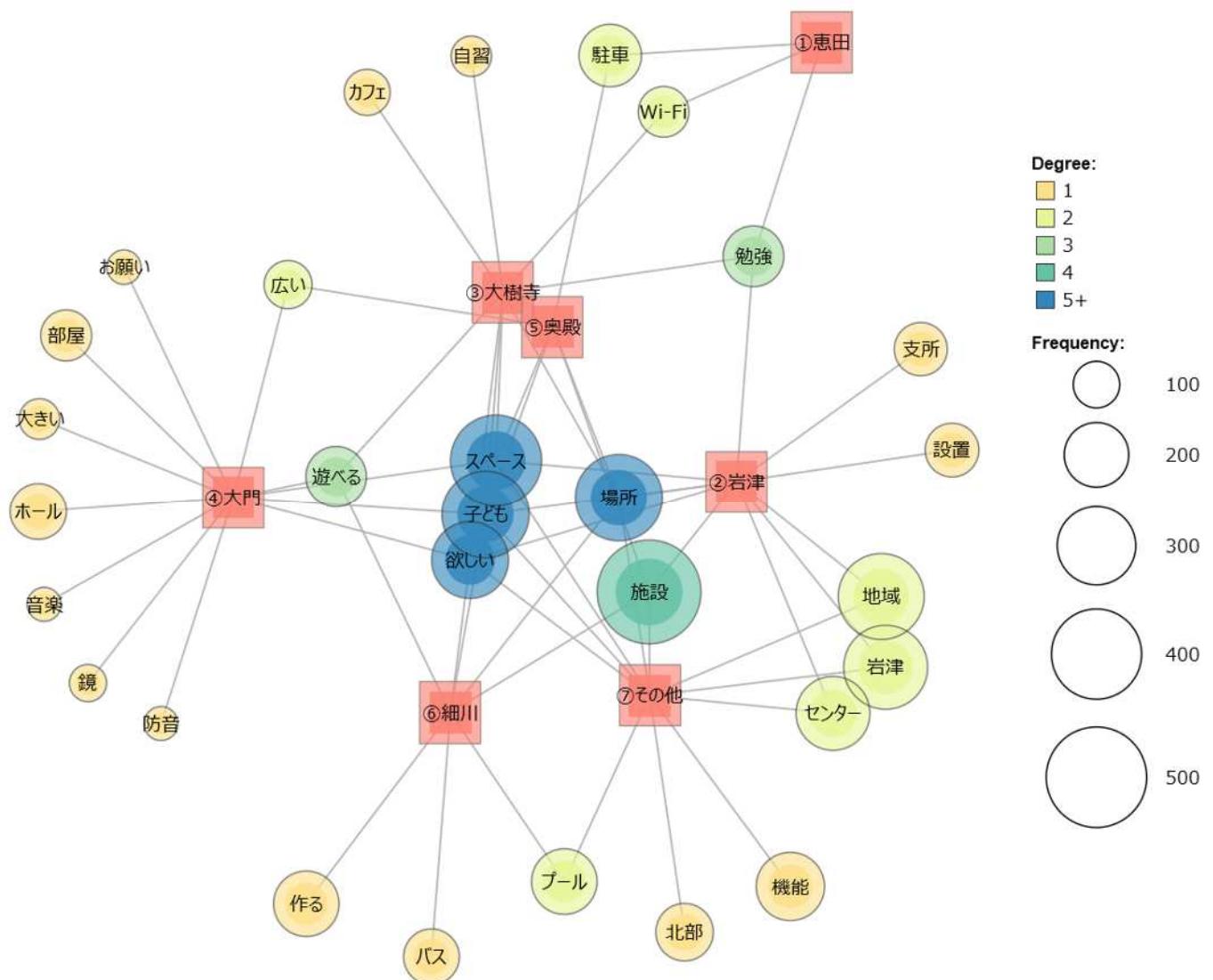
⇒文化施設

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見分析

【地域別の共起ネットワーク図】



【地域別に読み取れる特徴】

ほぼ全ての地域（恵田を除く）から「子どものスペース、場所が欲しい」という意見が得られており、多くの人から求められていると考えられる。

具体的に求められている施設・機能はプールやホール、カフェ等、機能面ではネット環境や勉強、自習等多種多様であり、各地域にどのような世代の方が多いかにより意見の内容に地域差が出ている可能性も考えられる。

① 恵田

Wi-Fiやホール、駐車場、勉強場所に関する意見

② 岩津

子どもの空間、勉強場所に関する意見

③ 大樹寺

Wi-Fi、勉強、カフェ、遊べる空間に関する意見

④ 大門

勉強場所、子どもが遊べる空間、音楽、防音の空間
鏡のある大きい部屋が求められている可能性

⑤ 奥殿

子どもの空間、駐車場、広い空間

⑥ 細川

バスに関する意見やプール、遊ぶ場所が欲しい
作る⇒新たな機能を作つて欲しい人が多い可能性

⑦ その他

子どもの空間、プールが欲しい

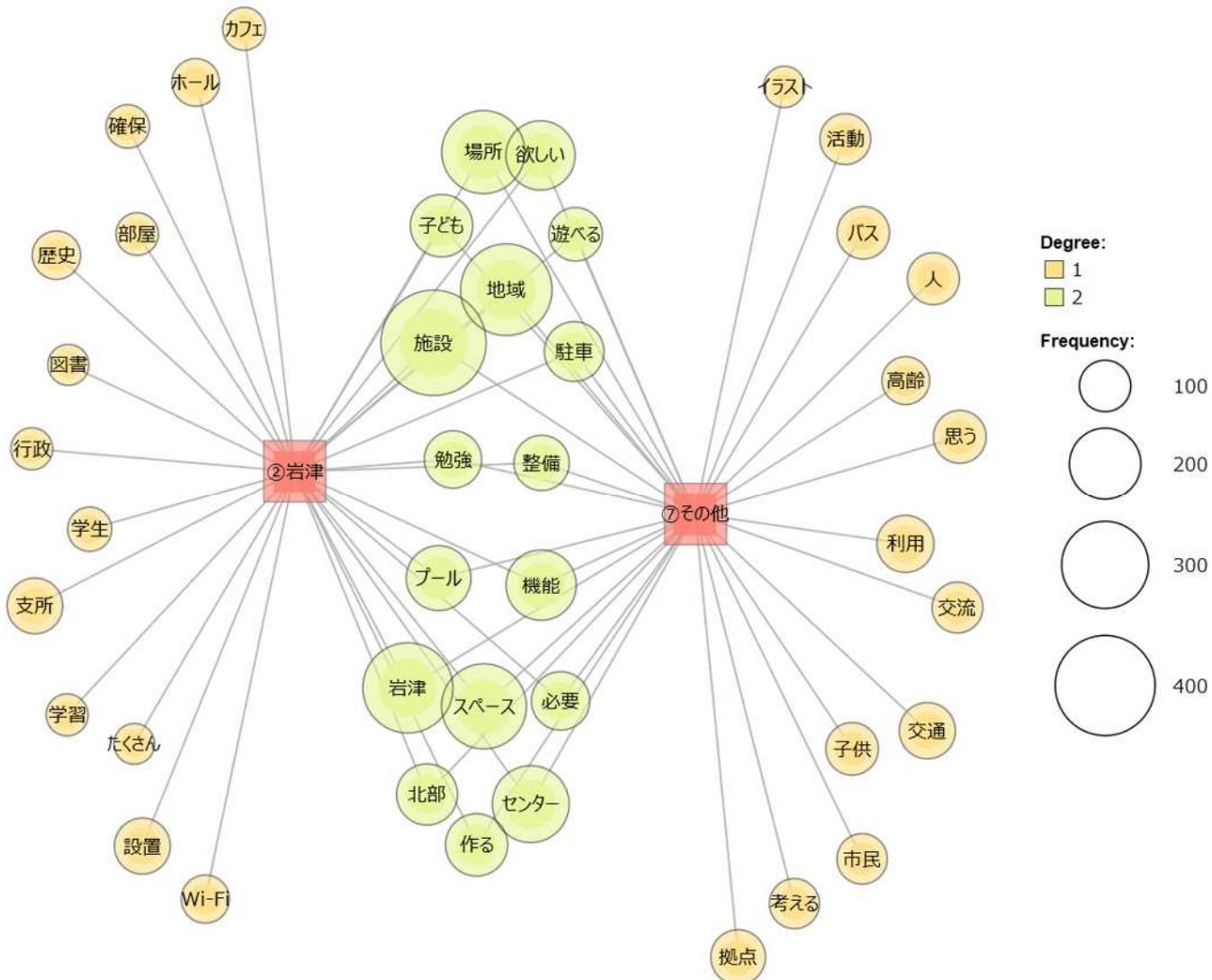
機能⇒新しい機能を求めている人が多い可能性

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見分析

【地域別(岩津・その他)の共起ネットワーク図】



【読み取れる特徴】

岩津とその他で得られた意見が類似しており、言葉のつながりは示すことができた。しかし、他の地域の回答は加味していないため、細かい言葉のつながりまで図に現れる。（この図は全地域の意見を総合的に分析したものではなく、あくまで「岩津」と「その他」に限ったもの）

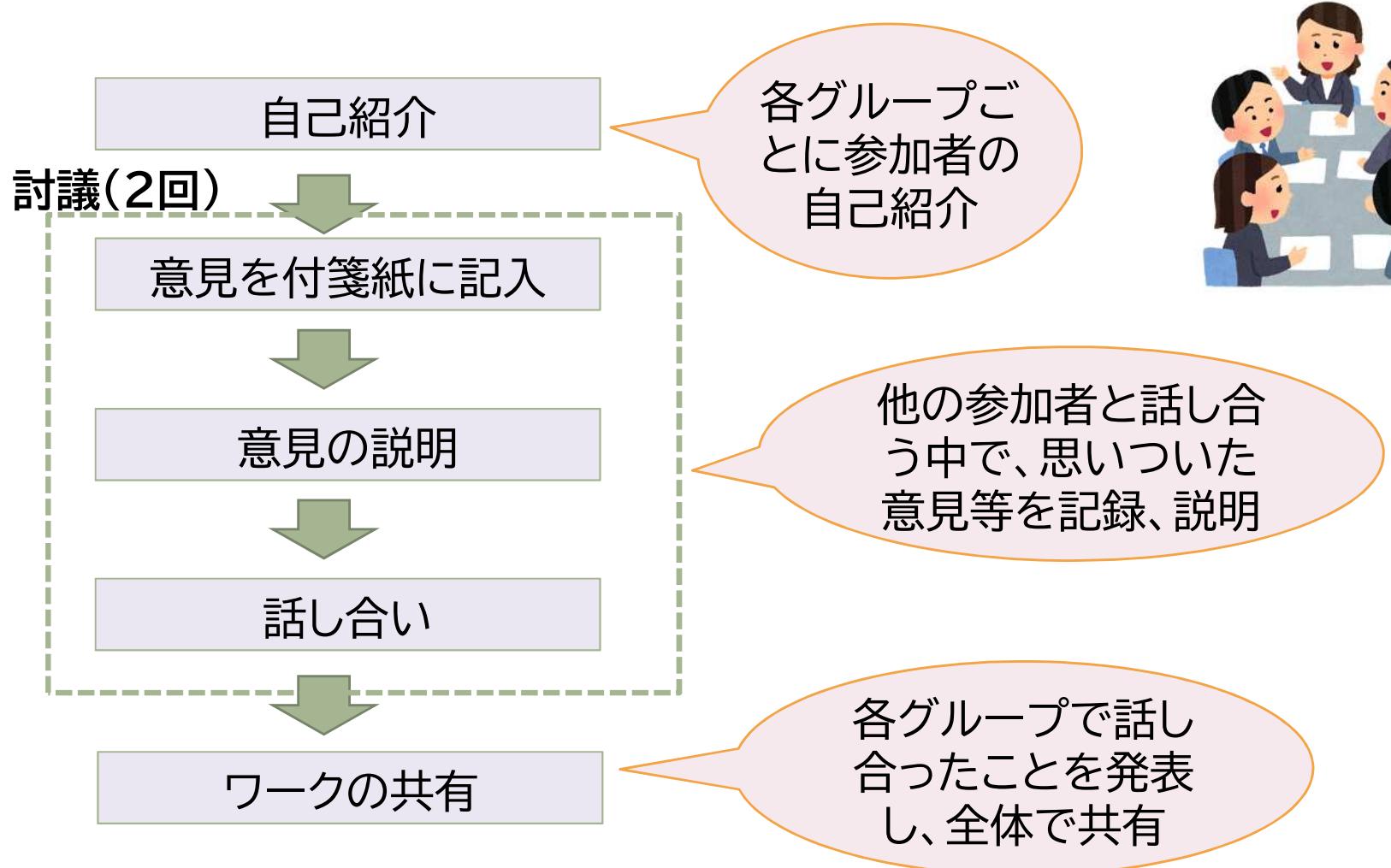
また、円の大きさも小さいものが多く、言葉の出現頻度としては少ない。

この結果の扱いには以下の点について注意が必要。

- ・細かい言葉まで図に現れる
 - ・他の地域を含めた総合的な図ではなく、あくまで2地域に限った図である
 - ・低頻度の言葉まで図に現れる

5. 本日のワークショップの進め方

(1) ワークショップの流れ



各グループに事務局スタッフがついて進行役を務めます

5. 本日のワークショップの進め方

(2) 参加者の自己紹介

まずは、参加している人のことを知りましょう！

例えば、次のようなことを話してください

- 氏名や居住エリア
 - 岩津地域との関わりや居住歴
 - 対象施設との関わり
 - 地域や施設について日ごろから思っていること
 - 地域や施設の気に入っているところ
- etc.



5. 本日のワークショップの進め方

(3) 討議方法



付箋を書く時に気を付けるポイント



ポイント
1

付箋に**書かないと残りません**

ポイント
2

ひとつの付箋に**意見はひとつだけ**

ポイント
3

みんなに分かるように**書きましょう**

5. 本日のワークショップの進め方

(4) ワークの共有(各グループの発表)

- ・皆さんの中で、ワークショップの発表者を決めましょう
- ・発表者は複数人でもOKです
- ・発表前に各グループの意見を整理分類しましょう
- ・整理分類の視点は自由です
- ・発表時間は4分です
- ・特に意見が多く出たものなどを中心に話しましょう
- ・発表内容について聞きたいことがあれば
手を挙げてください



5. 本日のワークショップの進め方

参考:意見のイメージ

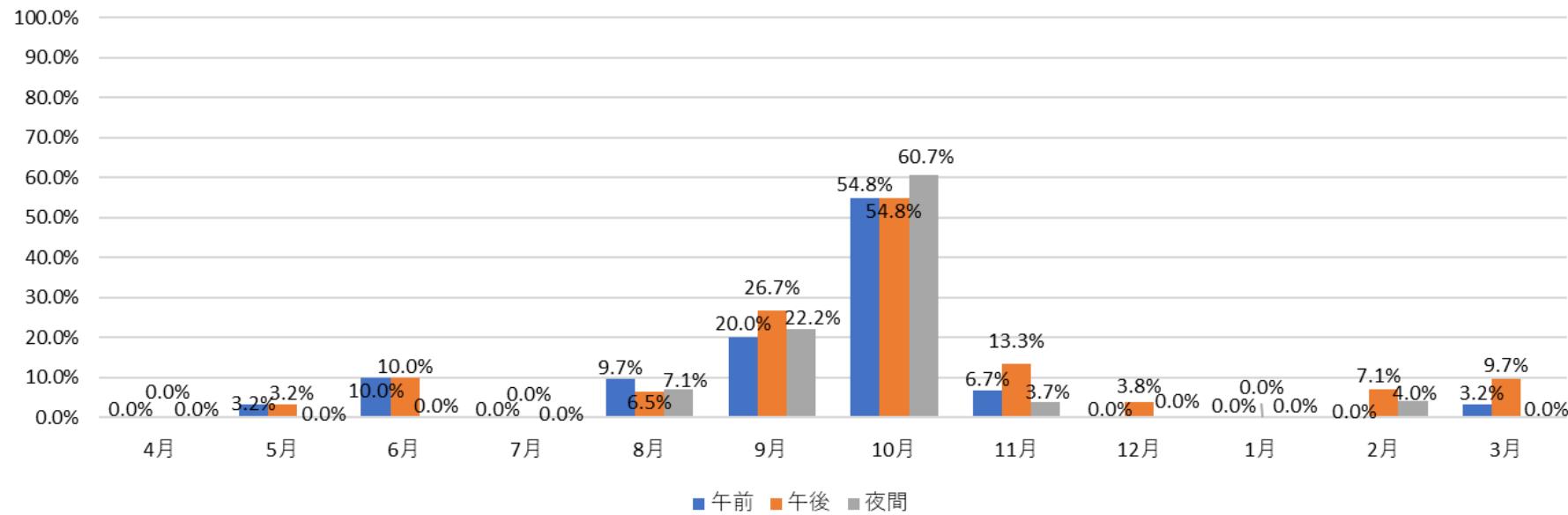
岩津地域について	対象施設について
緑が多い	子どもの遊び場が不足している
地域のつながりが強い	会議室が使いやすい
地域のイベントが多い	施設が古い
主要道路へのアクセスがよい	スタッフの対応が親切

參考資料

4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(岩津支所)

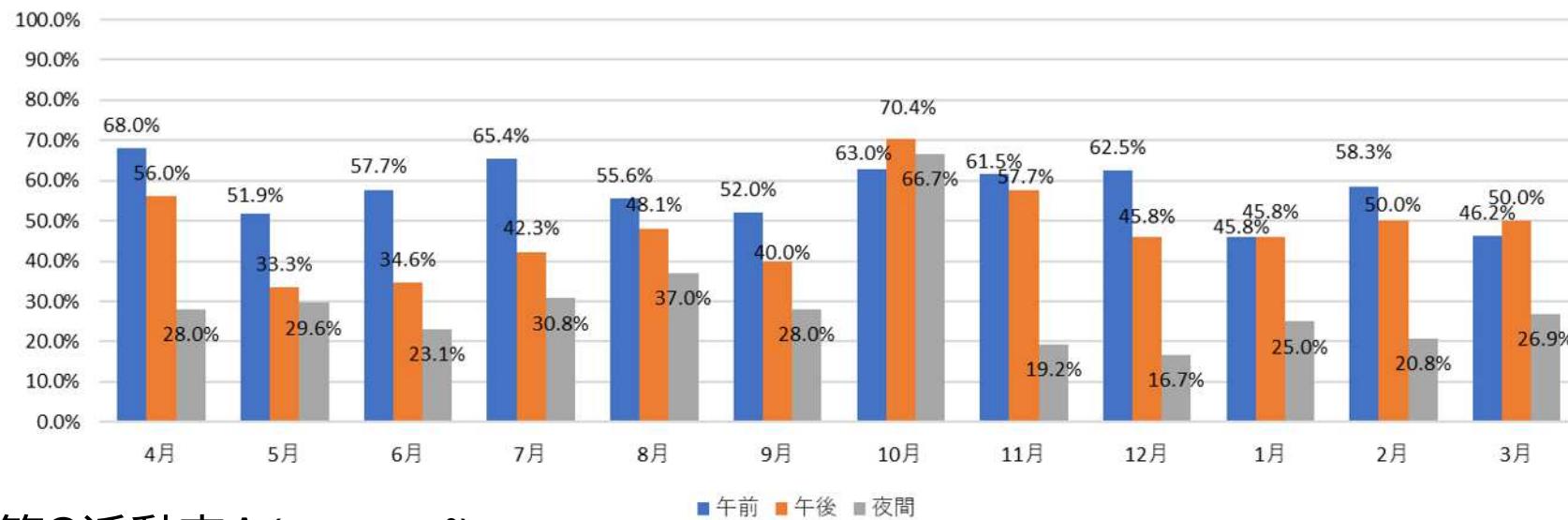
1) 防災活動室(42m²)



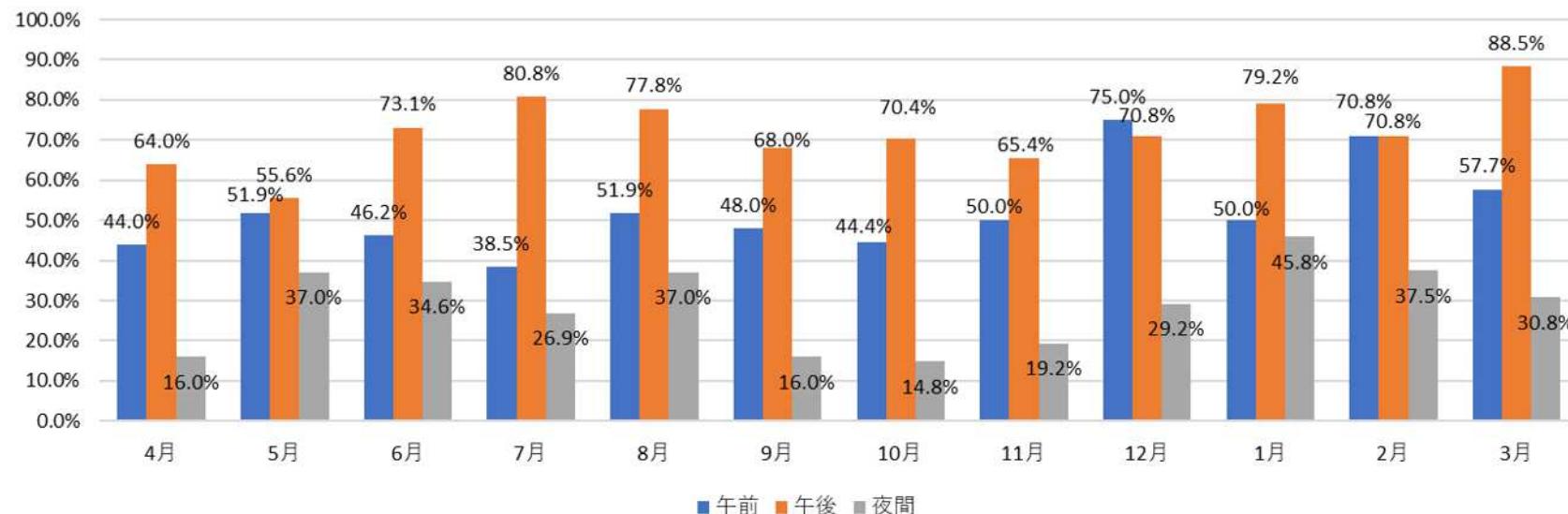
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(北部地域交流センター)

1) 第1活動室(39.40m²)



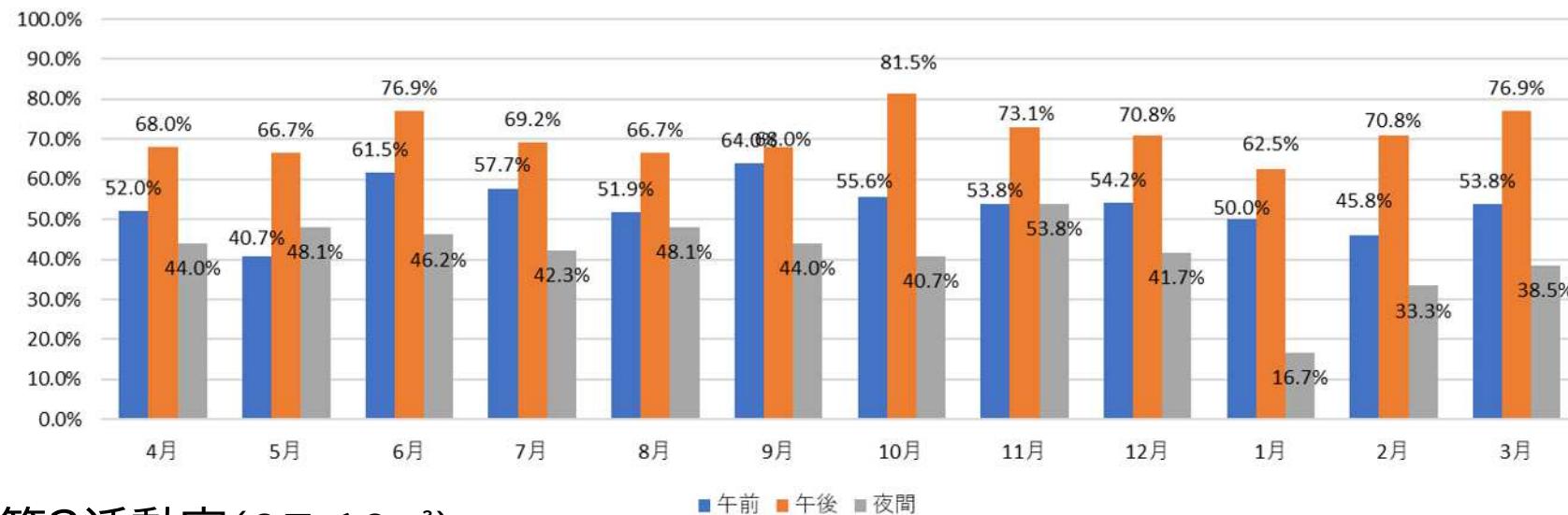
2) 第2活動室A(31.10m²)



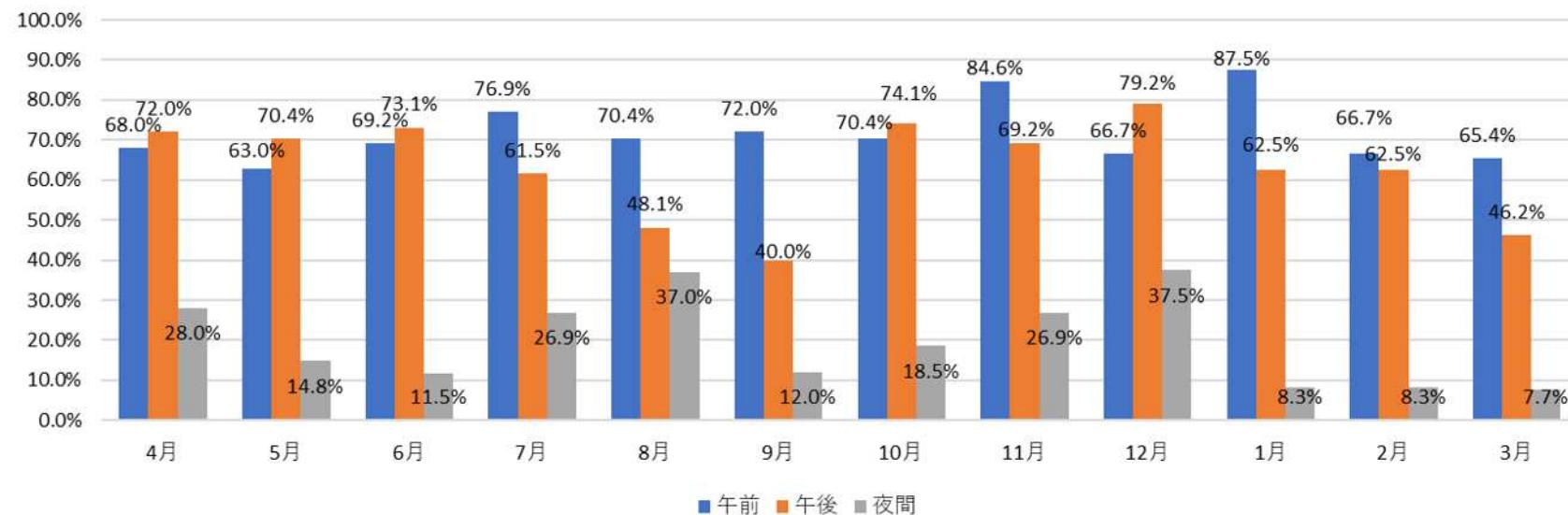
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(北部地域交流センター)

3) 第2活動室B(42.80m²)



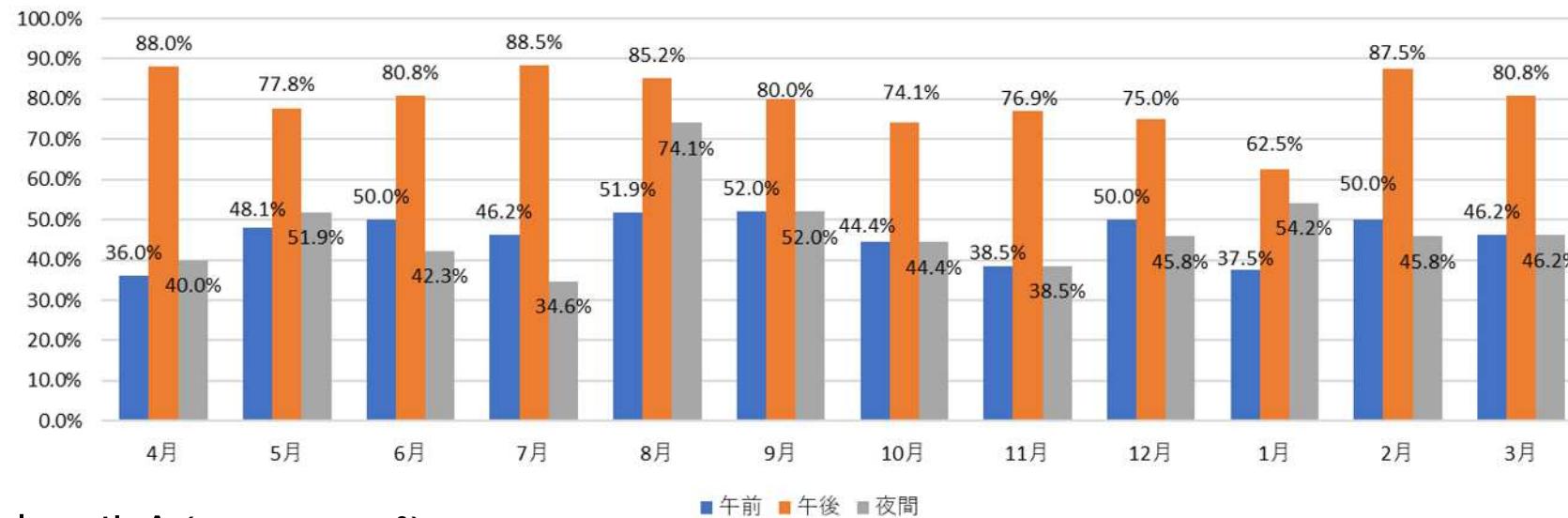
4) 第3活動室(97.60m²)



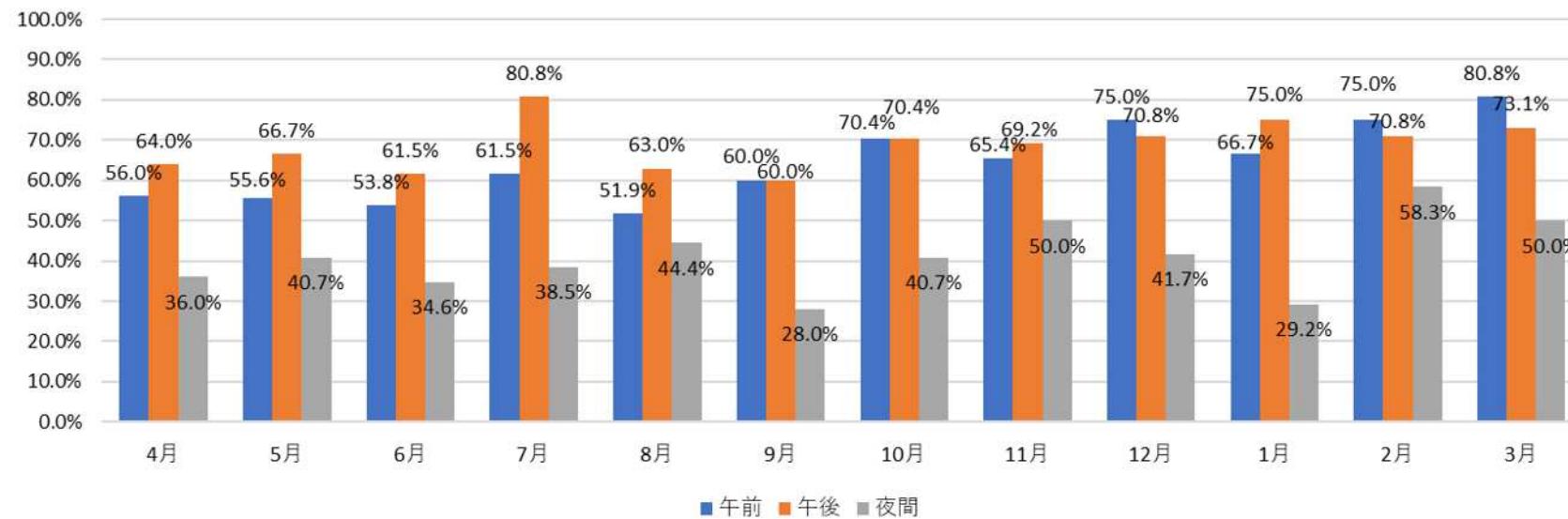
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(北部地域交流センター)

5) 第4活動室(28.50m²)



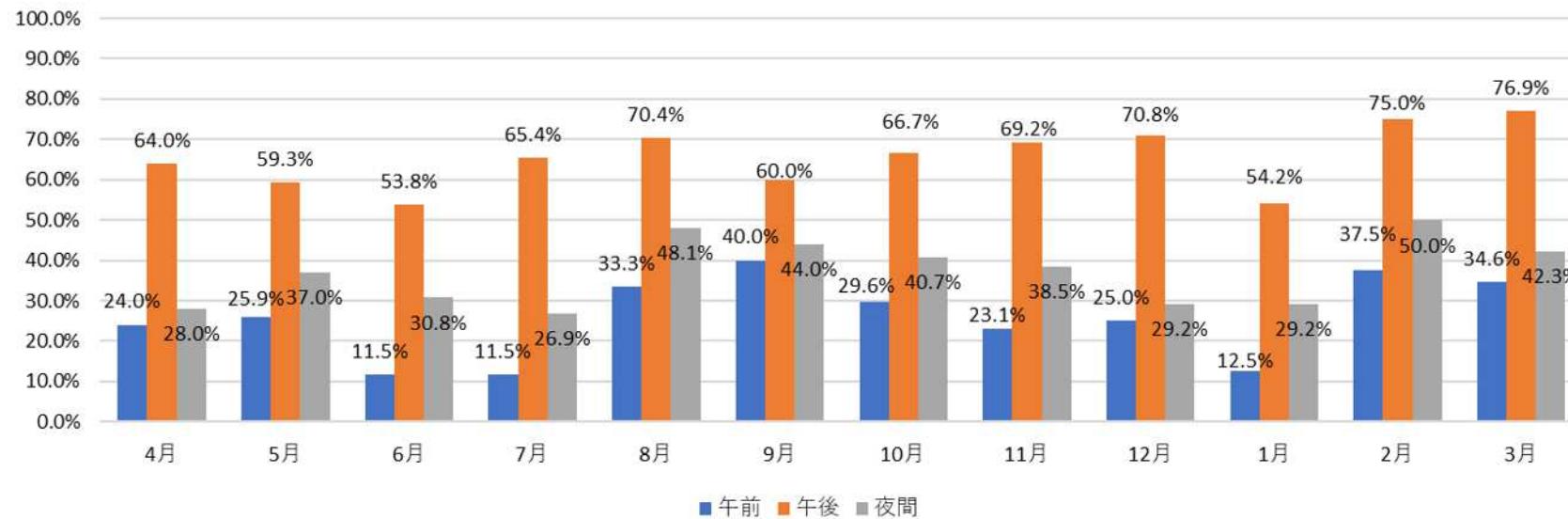
6) ホールA(130.80m²)



4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(北部地域交流センター)

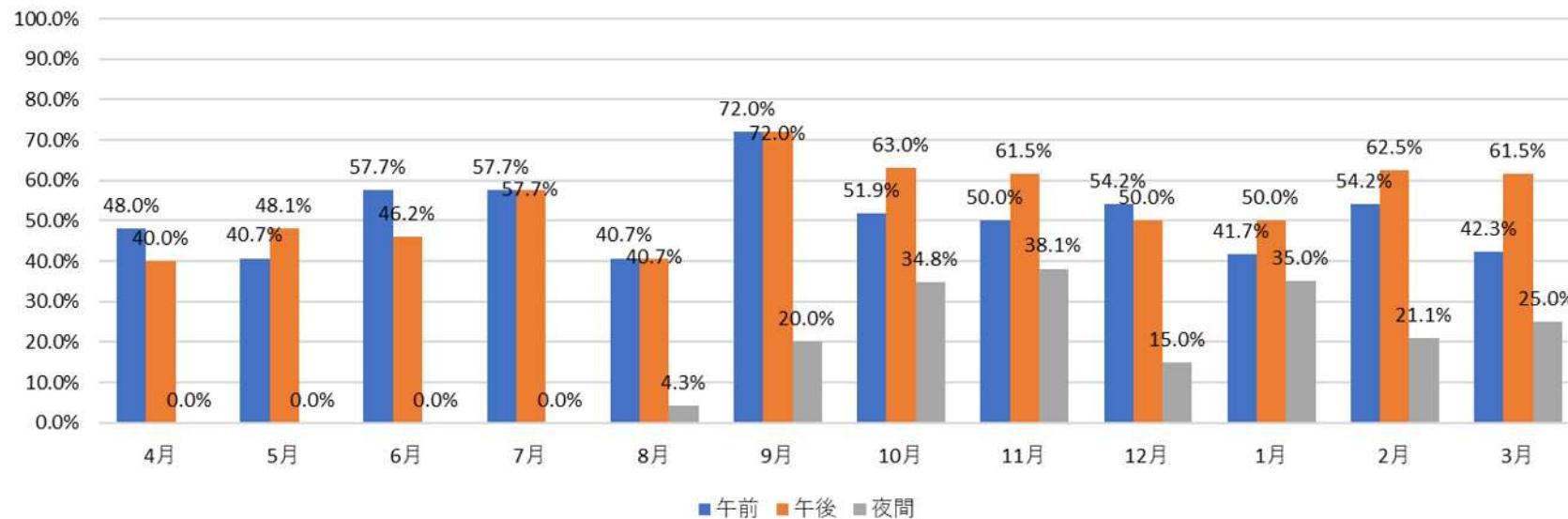
7) ホールB(164.60m²)



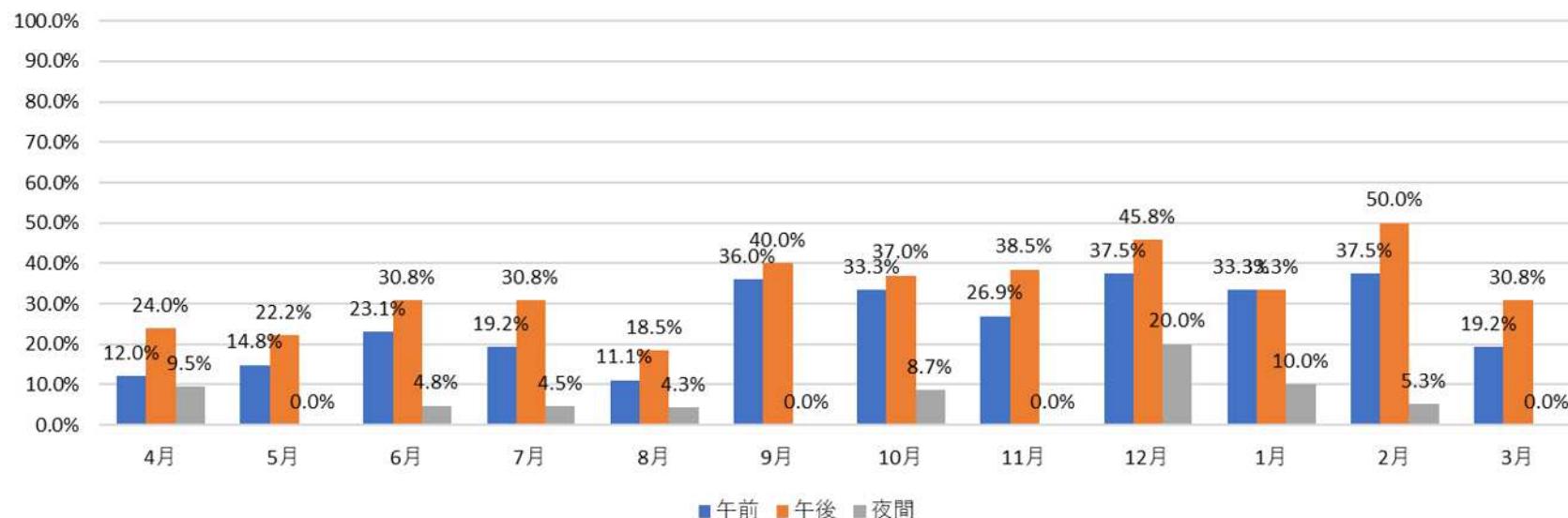
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(岩津市民センター)

1) 体育集会室(153.25m²)



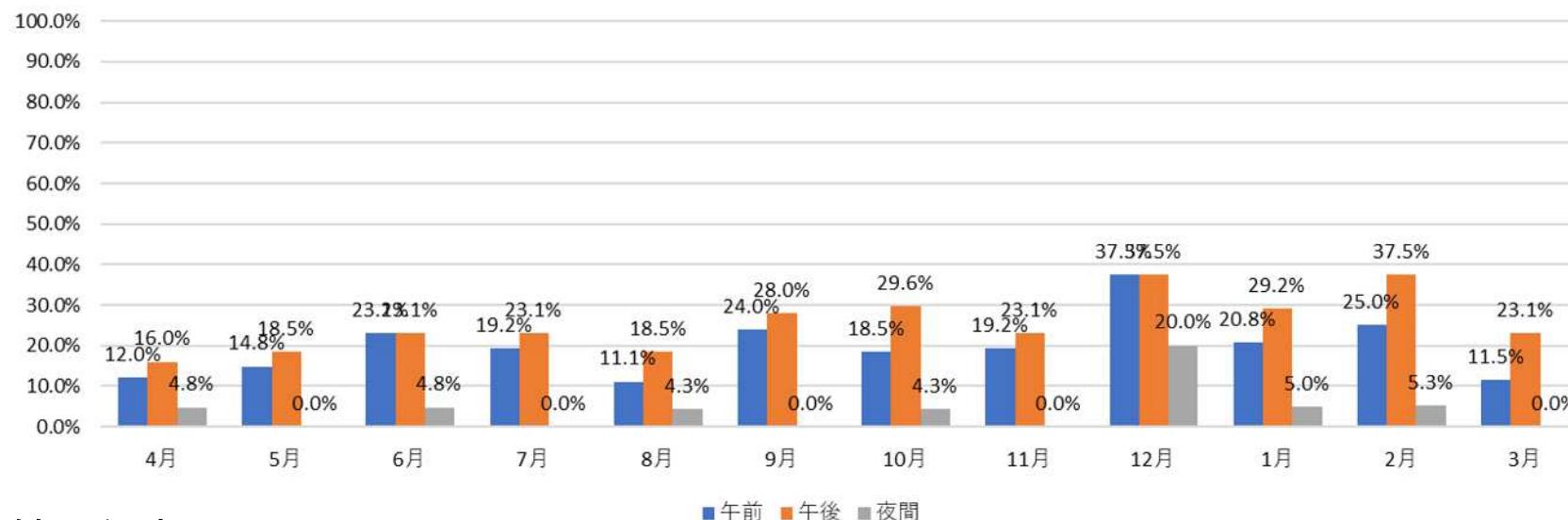
2) 第1会議室(33.83m²)



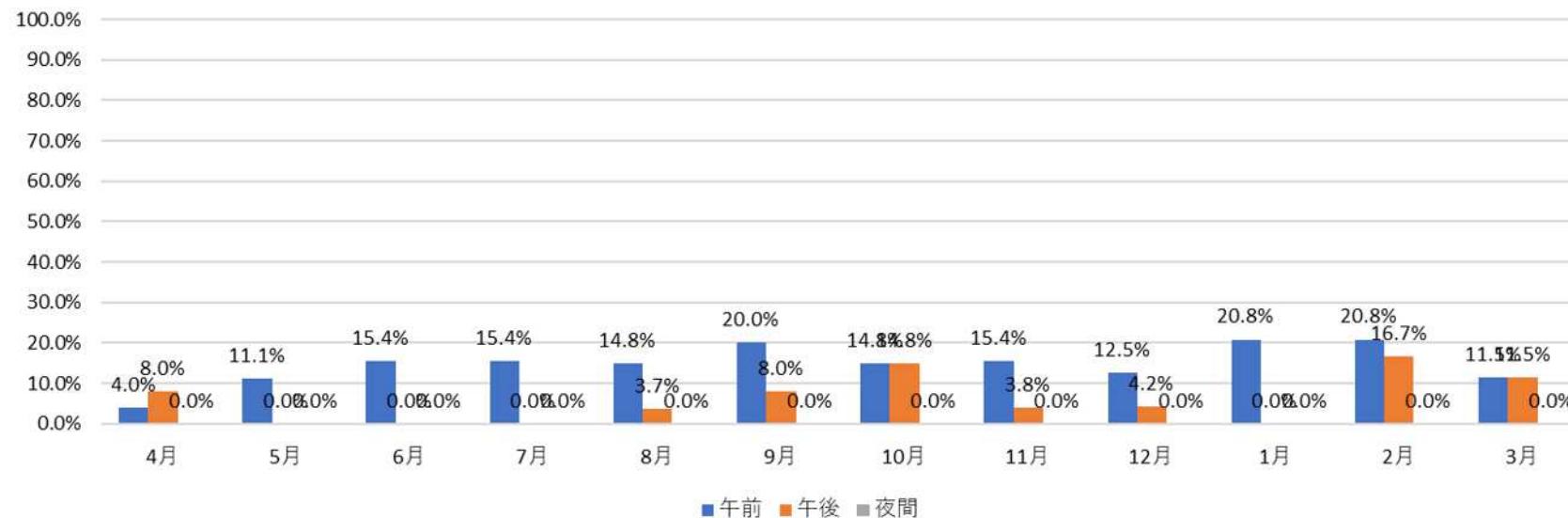
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(岩津市民センター)

3) 第2会議室(33.83m²)



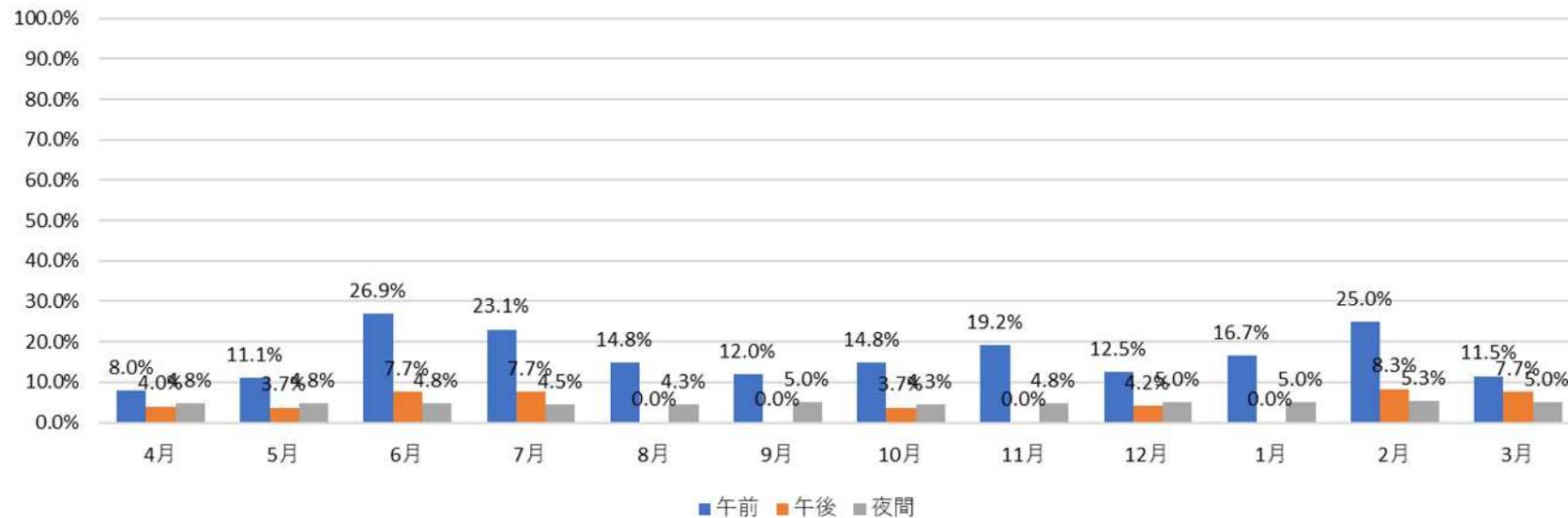
2) 第1和室(12畳)



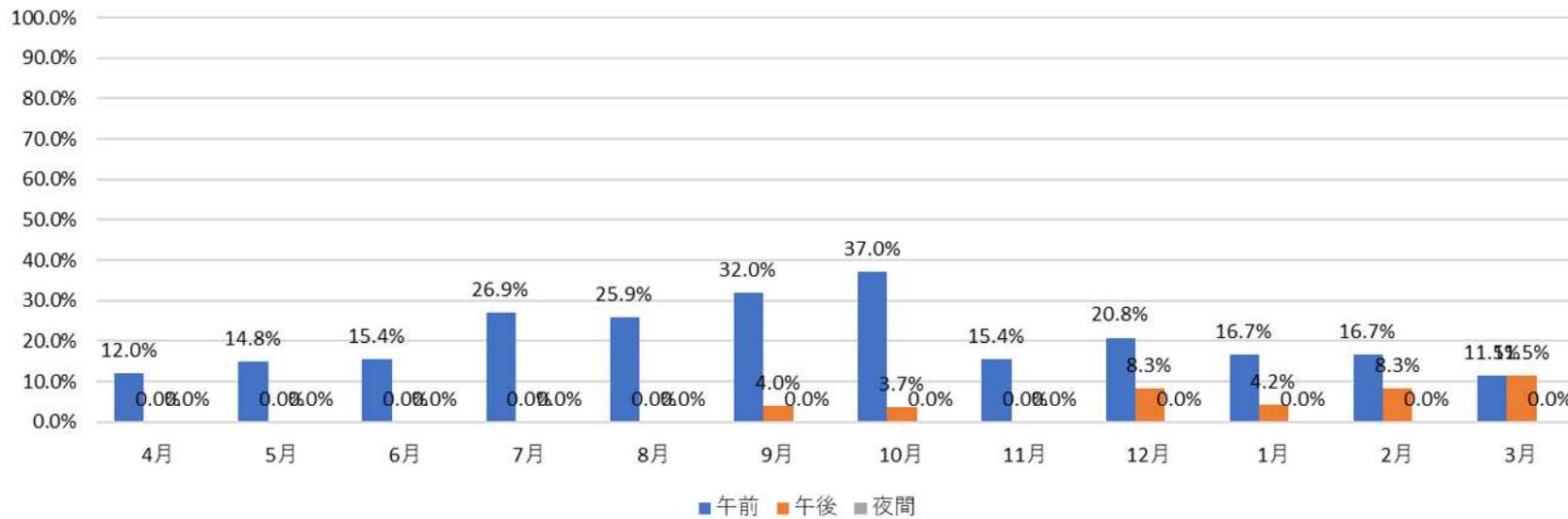
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(岩津市民センター)

5) 第2和室(8畳)



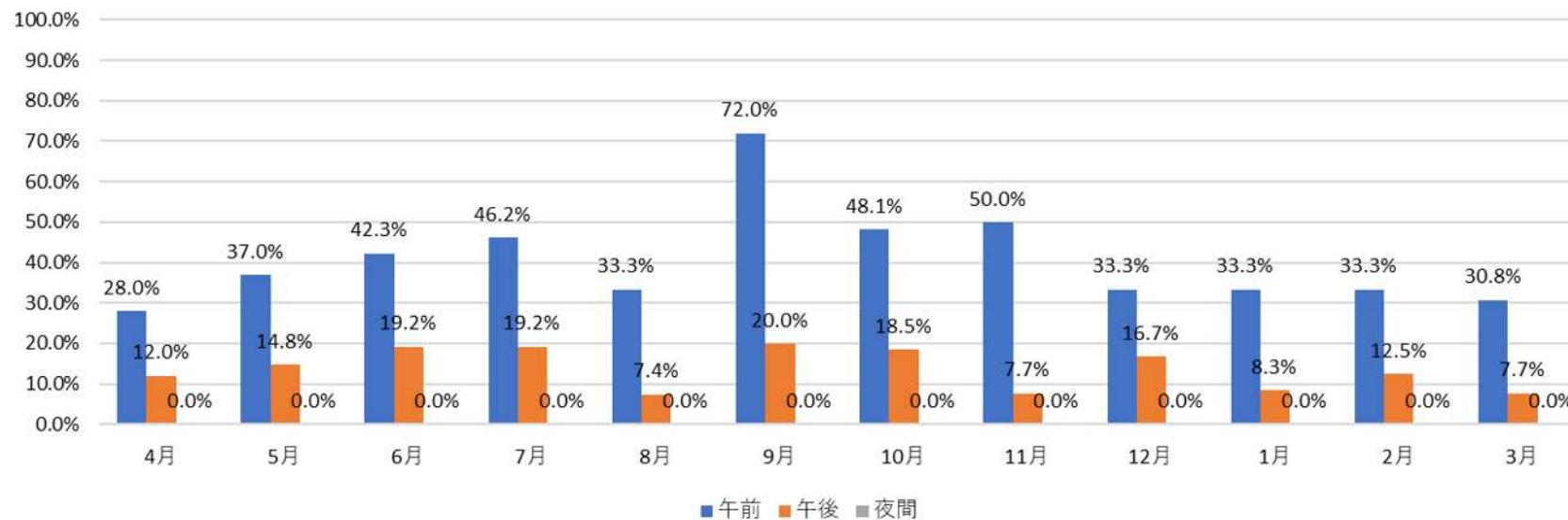
6) 第3和室(24畳)



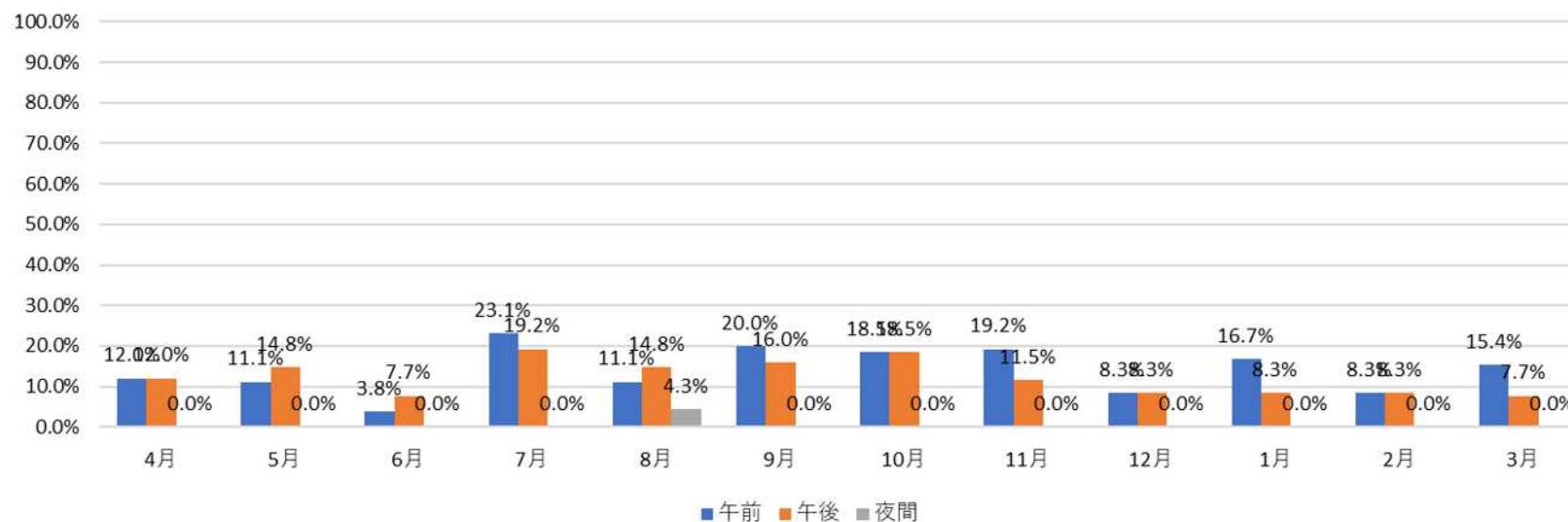
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(岩津市民センター)

7) 第1講習室(46.72m²)



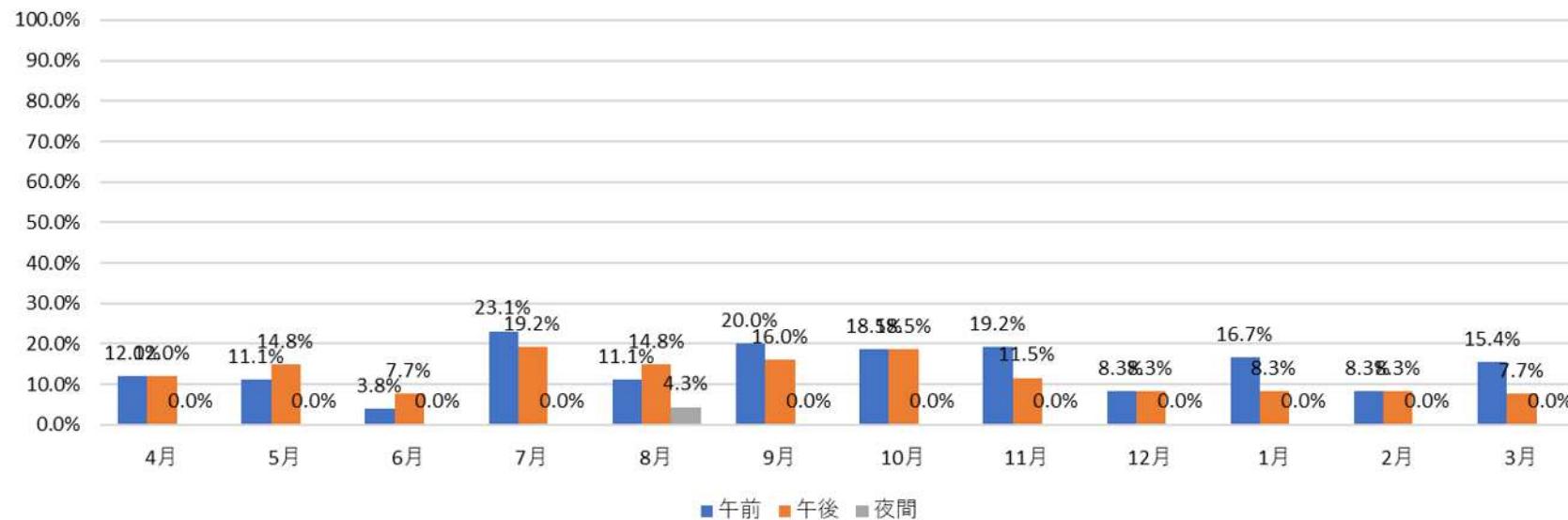
8) 第2講習室(34.74m²)



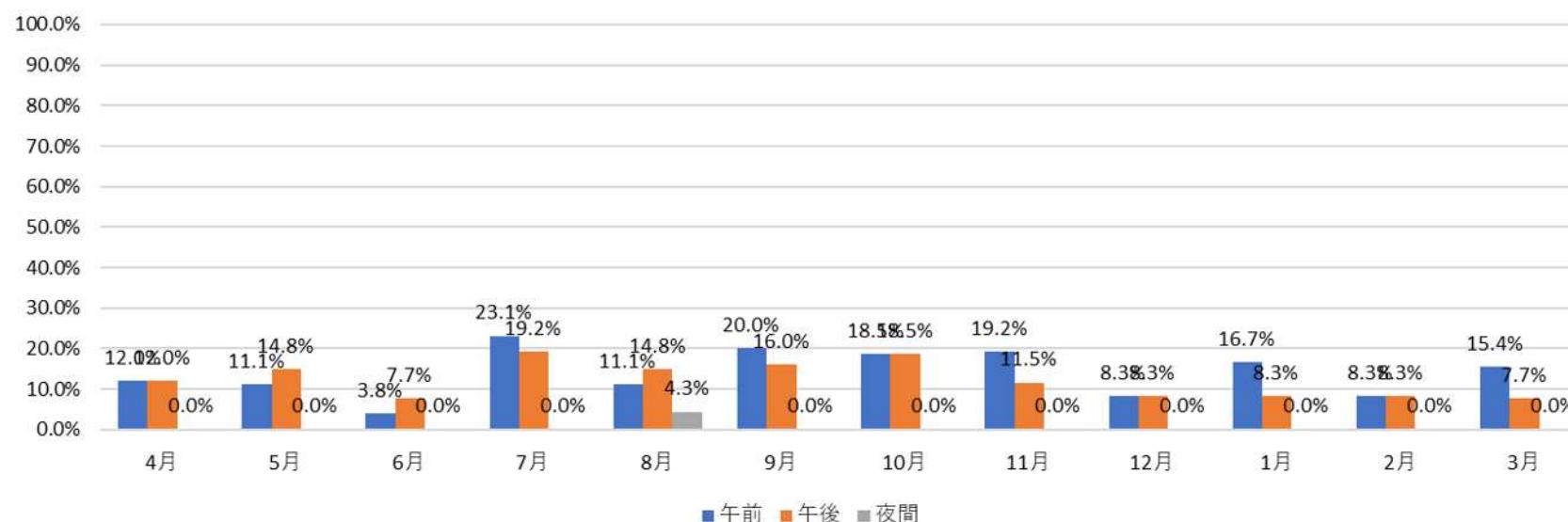
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(岩津市民センター)

9) 第3講習室(43.89m²)



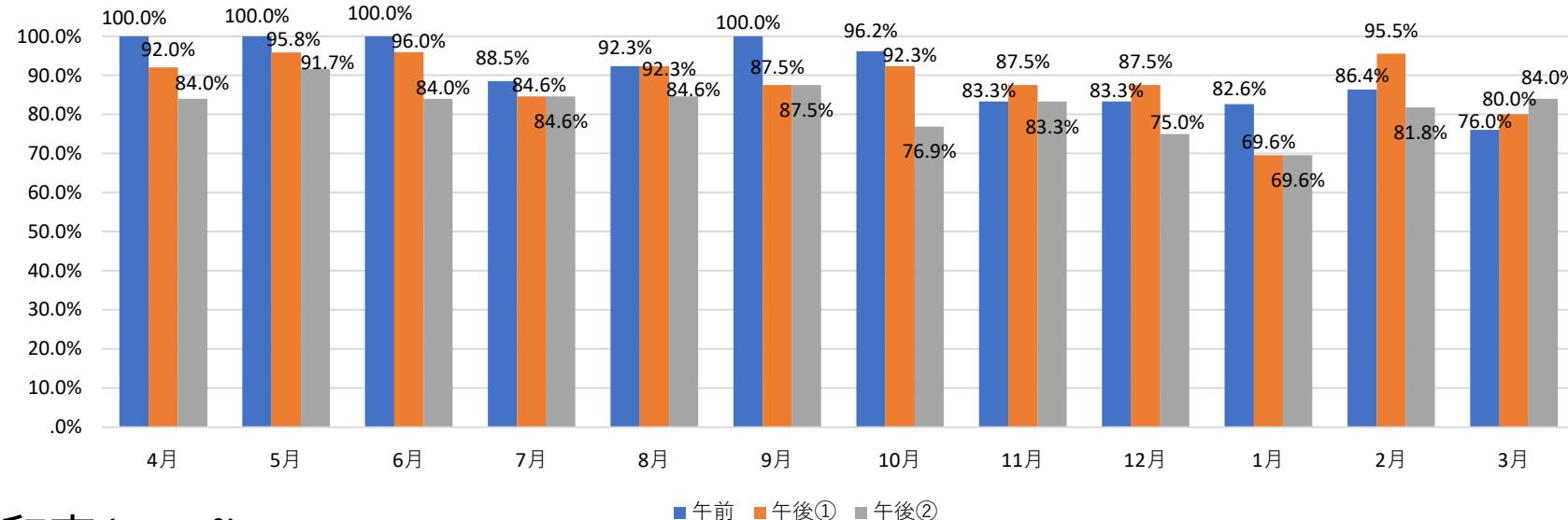
10) 料理講習室(77.04m²)



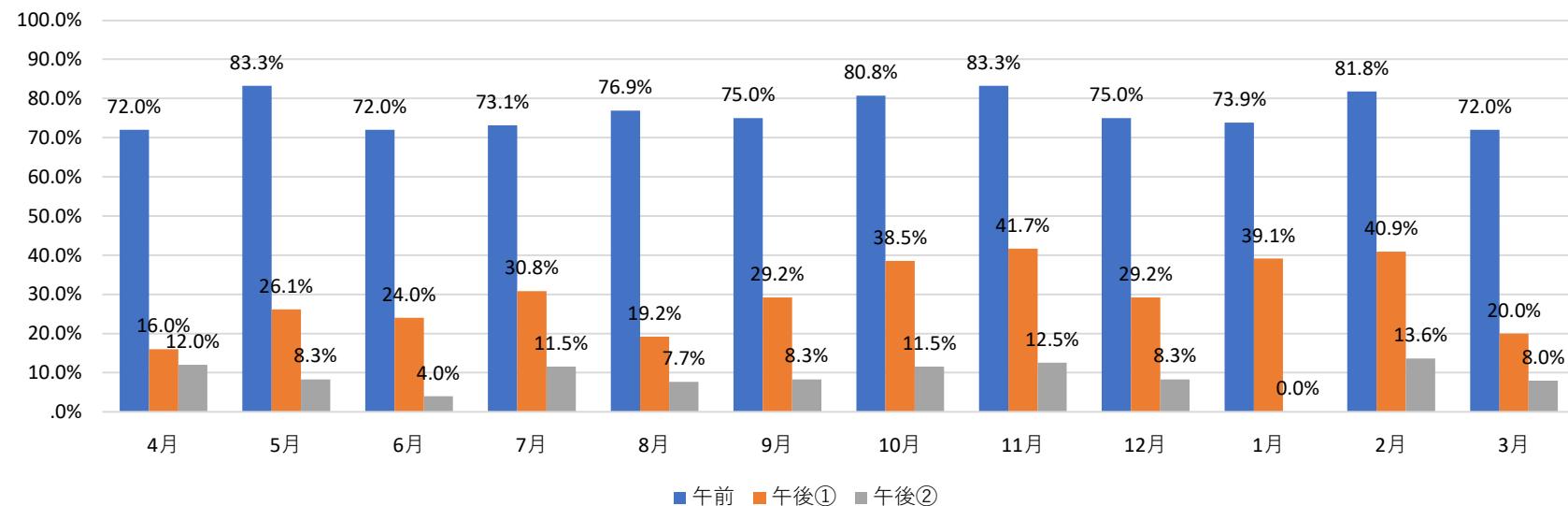
4. 地域活動拠点施設の整備

(3) 対象施設の稼働率(北部地域福祉センター)

1) 集会室(52m²)



2) 和室(35m²)

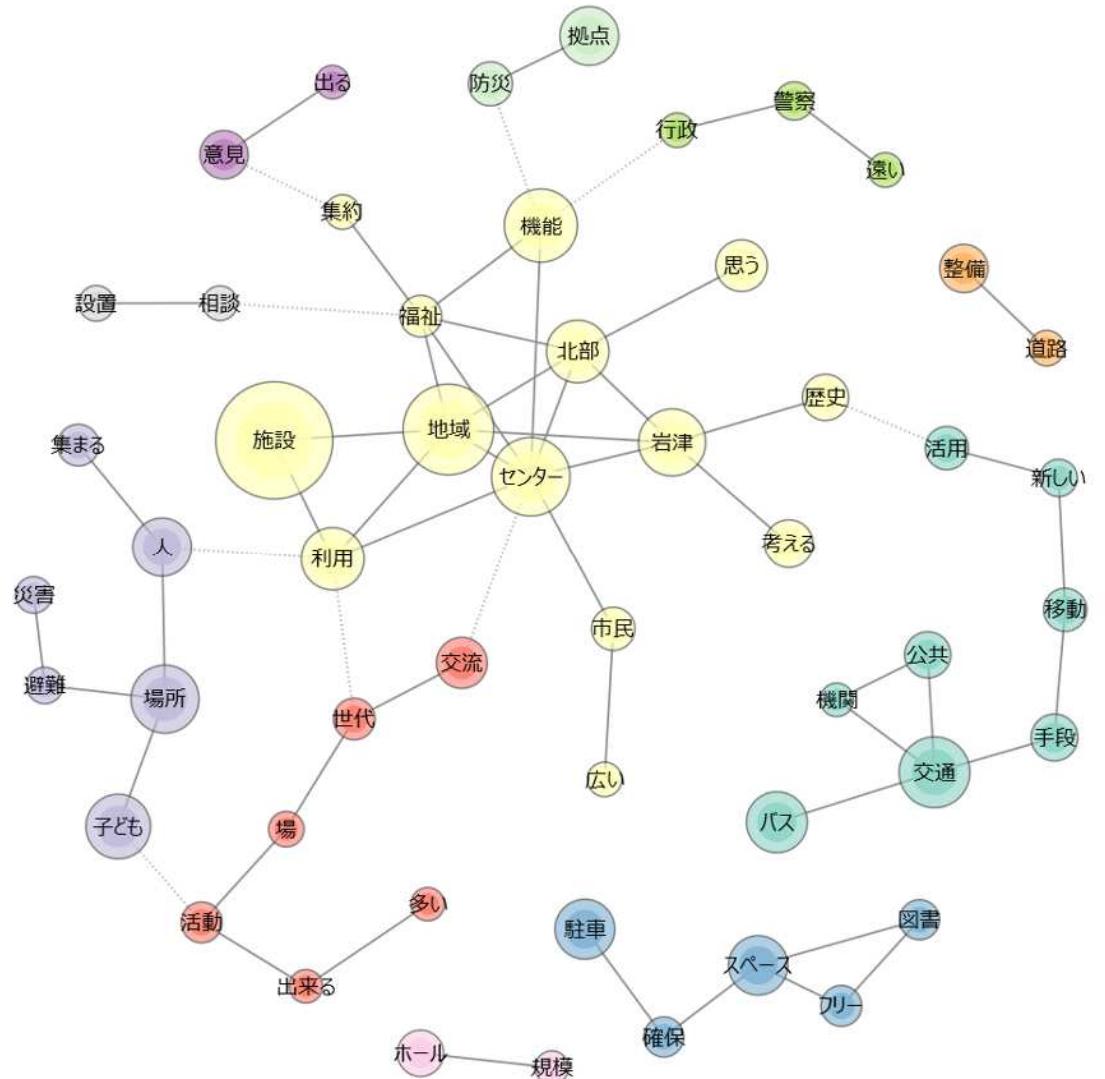


4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【全地域懇談会での意見に対する共起ネットワーク図】



【読み取れる特徴（グルーピング）】

- 1 : 公共交通手段を考える（バス）
新しい移動手段の活用
- 2 : 市民が利用できる施設（福祉機能・交流できる）、歴史、文化、集約
- 3 : 子ども、人が集まる場所
災害時避難できる場所
- 4 : 多世代が交流、活動できる場所
- 5 : 駐車場の確保
フリースペース、図書
- 6 : 道路の整備
- 7 : 行政手続きができる
警察署が遠い
- 8 : ホールが欲しい
- 9 : 相談できる場所の設置
- 10 : 意見を出せる場所
- 11 : 防災拠点としての機能

【考察、まとめ】

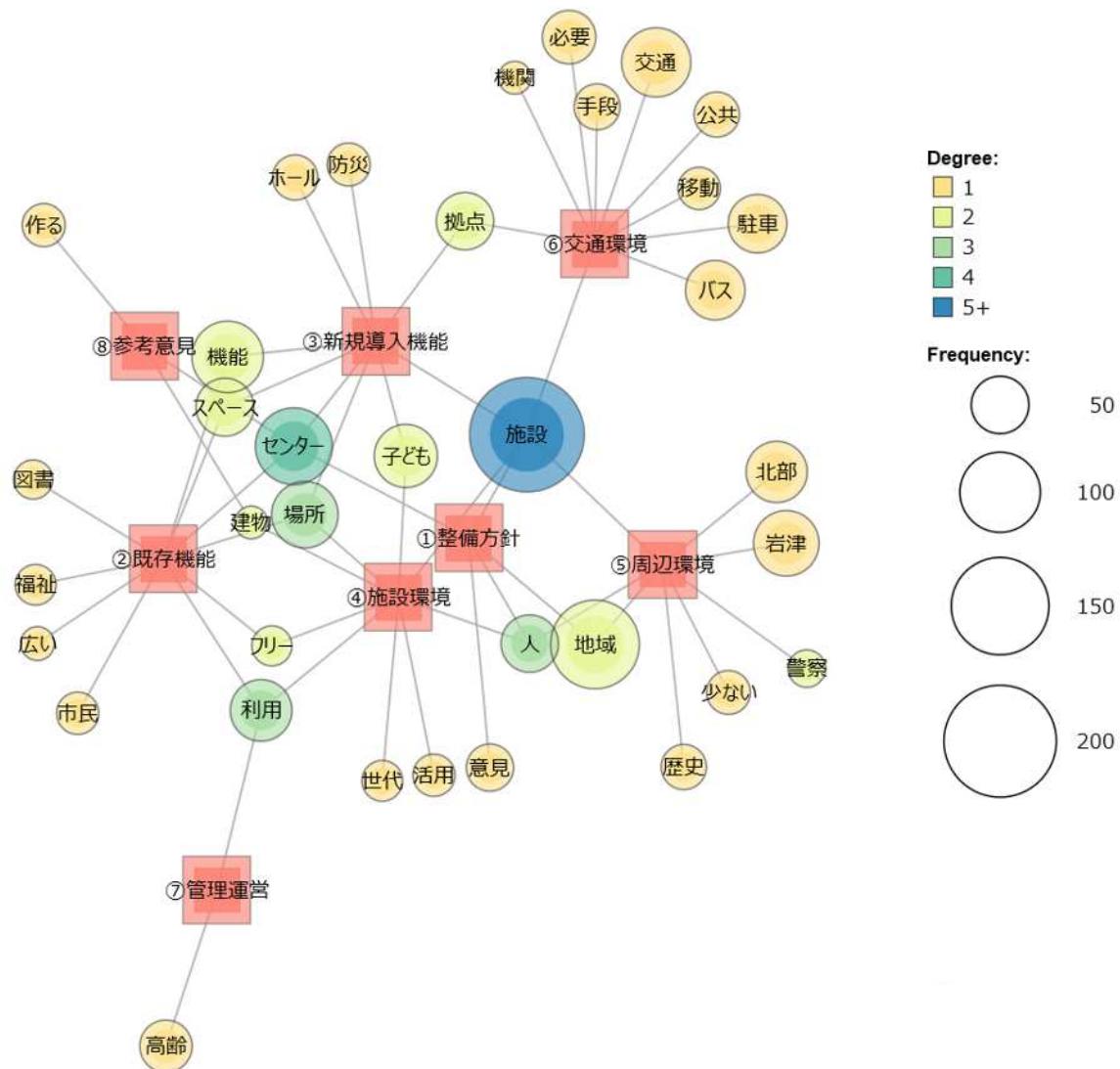
基本的に地域懇談会での意見に絞ったことによる共起図の変化はないと考える。
地域懇談会での意見に絞ったことで、データ数が減少し、言葉の出現頻度が少ないものも図に現れているため、扱いには注意が必要。
最小円で50、図上はさらに小さい円もあるため、出現数は25前後のものも図に現れていると推測できる。

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【全地域懇談会 カテゴリー別の共起ネットワーク図】



【カテゴリー別に読み取れる特徴】

基本的に大きく共起図の内容は変わらないと考える。出現頻度が少ないものの、共起図には現れている言葉もあるため、注意が必要。

以下、各カテゴリーから読み取れる特徴

①整備方針

⇒地域住民のことを考える

②既存機能

⇒図書室、福祉機能

③新規導入機能

⇒ホール、子どものスペース、防災関連

④施設環境

⇒子どもの場所、フリースペース

⑤周辺環境

⇒歴史、岩津地域に関する施設
警察が遠い

⑥交通環境

⇒公共交通手段の確保（バス・駐車場）
拠点となる施設

⑦管理運営

⇒高齢者が利用できる場所

⑧参考意見

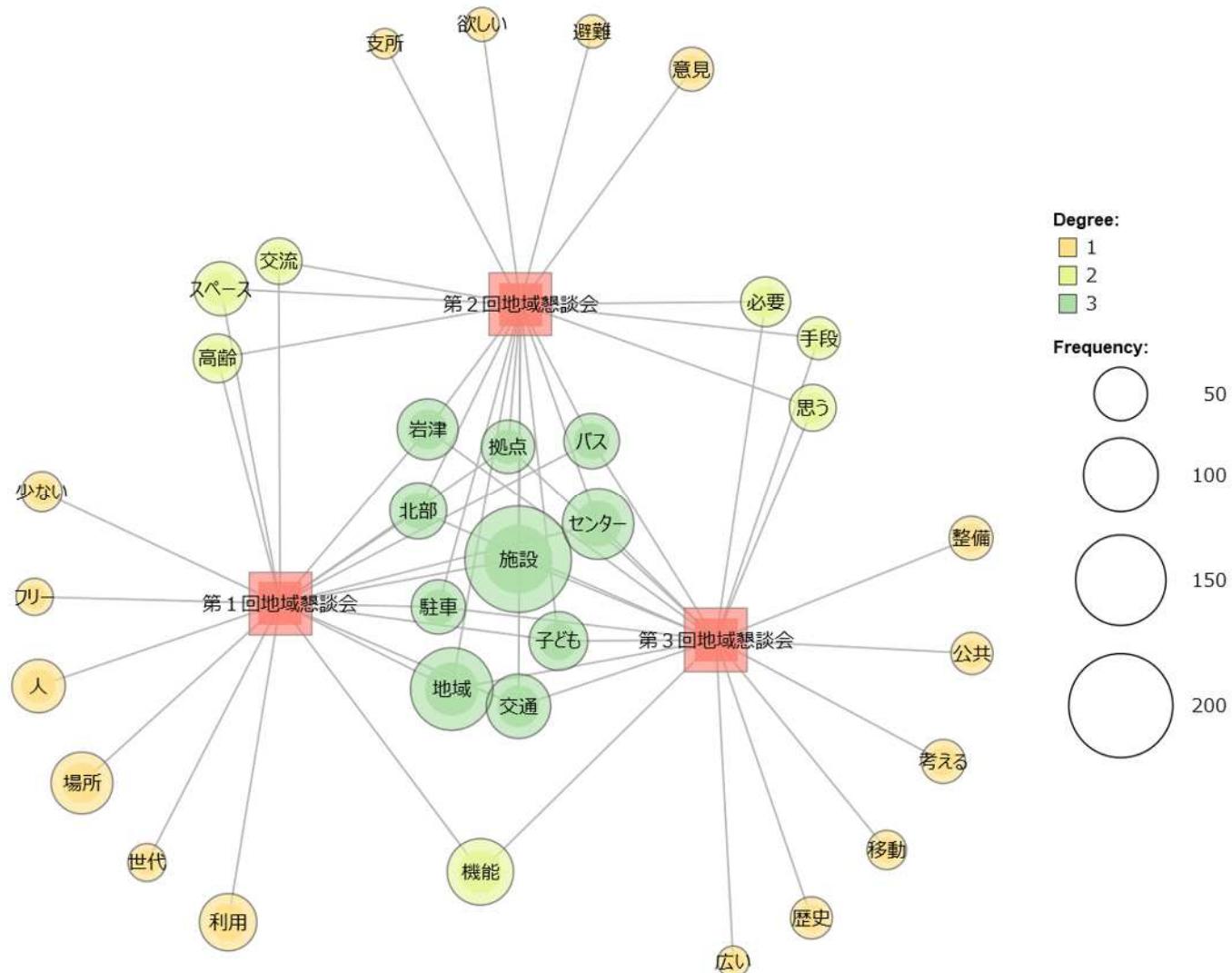
⇒健康増進施設

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【地域懇談会の開催回別共起ネットワーク図】



【カテゴリー別に読み取れる特徴】

各回の地域懇談会で共通している意見と各回ごとの個別の意見が読み取れる。

共通意見

⇒子どものため、地域のための施設
拠点となる施設
バス等の公共交通や駐車場の整備
高齢者の空間、フリースペース、交流スペース

第1回懇談会

⇒世代関係なく利用できる
フリースペースが少ない

第2回懇談会

⇒避難場所が欲しい

第3回懇談会

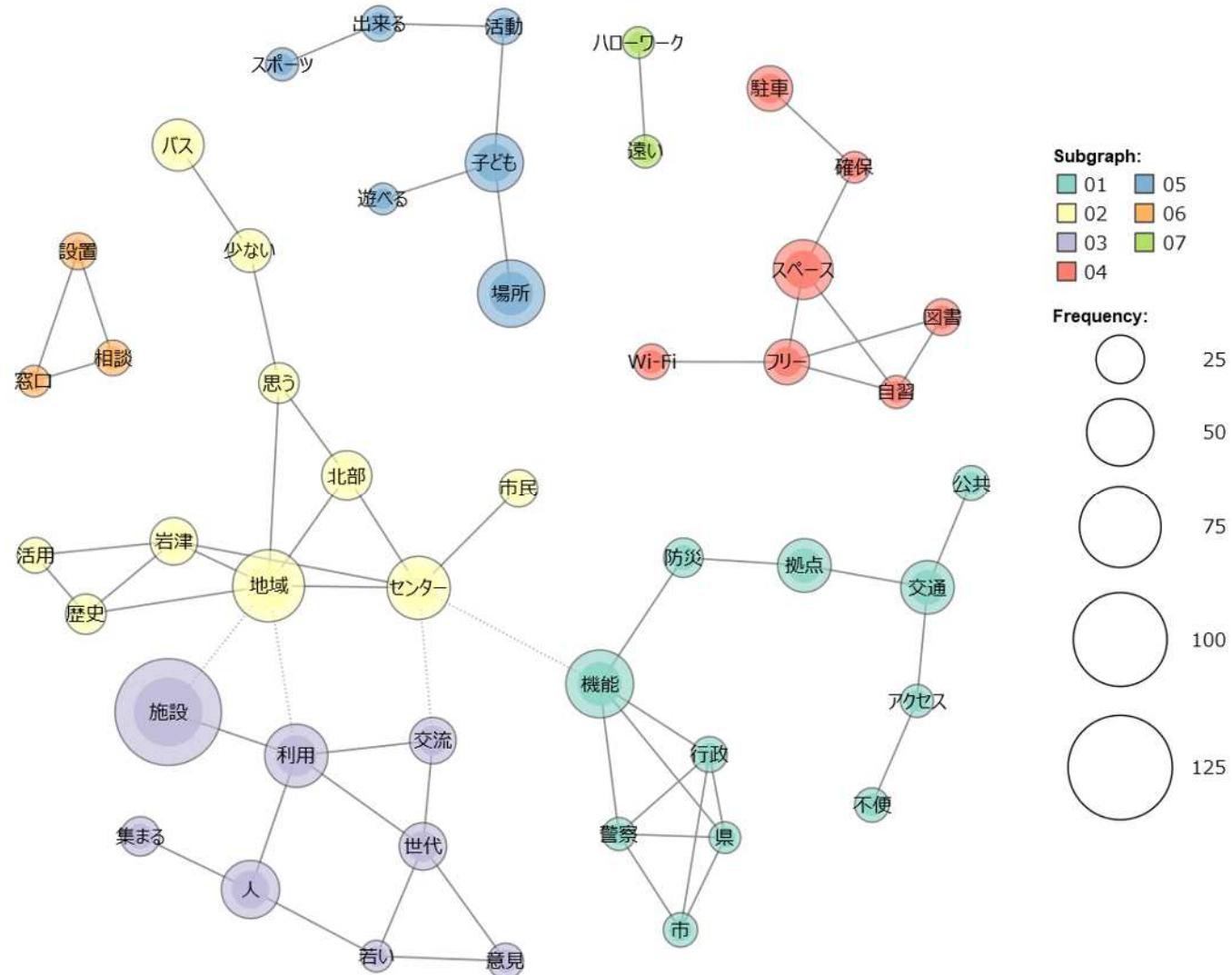
⇒公共交通、移動手段の整備
歴史に関連する施設

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【第1回地域懇談会での意見に対する共起ネットワーク図】



【読み取れる特徴（グルーピング）】

- 1 : 行政、警察の機能
公共交通の整備、アクセス不便
防災の拠点となる施設
 - 2 : バスが少ない
岩津地域の歴史の活用
 - 3 : 世代間交流
人が集まる
 - 4 : フリースペース、自習、図書
駐車場の確保
Wi-Fiの整備
 - 5 : 子どもが遊べる、スポーツできる場所
 - 6 : 相談窓口の設置
 - 7 : ハローワークが遠い

【考察、まとめ】

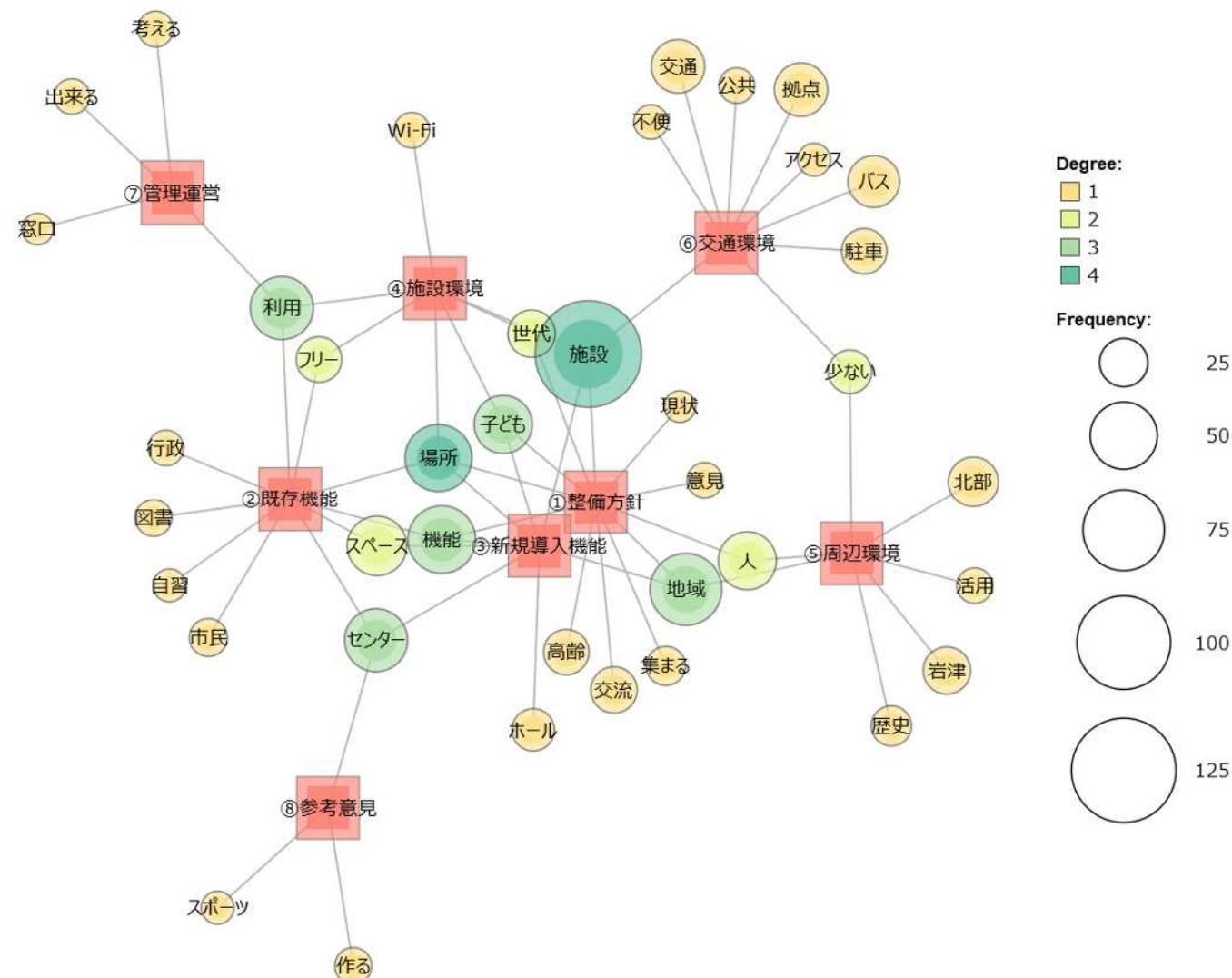
基本的に地域懇談会での意見に絞ったことによる意見の大きな変化はないと考える。
データ数が減少したことで、グルーピングの数も減少したと考えられる。
地域懇談会での意見に絞ったことで、データ数が減少し、言葉の出現頻度が少ないものも図に現れているため、扱いには注意が必要。

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【第1回地域懇談会 カテゴリー別の共起ネットワーク図】



【カテゴリー別に読み取れる特徴】

基本的に共起図の大きな変化はないと考える。言葉の出現頻度が少ないものも図に現れているため、扱いには注意が必要。

以下、各カテゴリーから読み取れる特徴

①整備方針

⇒地域住民のことを考える
高齢者が交流できる、集まる

②既存機能

⇒図書館、自習スペース、行政機能

③新規導入機能

⇒ホール、子どものスペース

④施設環境

⇒子どもの場所、フリースペース
Wi-Fiの整備

⑤周辺環境

⇒岩津地域の歴史の活用

⑥交通環境

⇒公共交通手段の確保（バス・駐車場）
拠点となる施設
不便

⑦管理運営

⇒窓口が欲しい

⑧参考意見

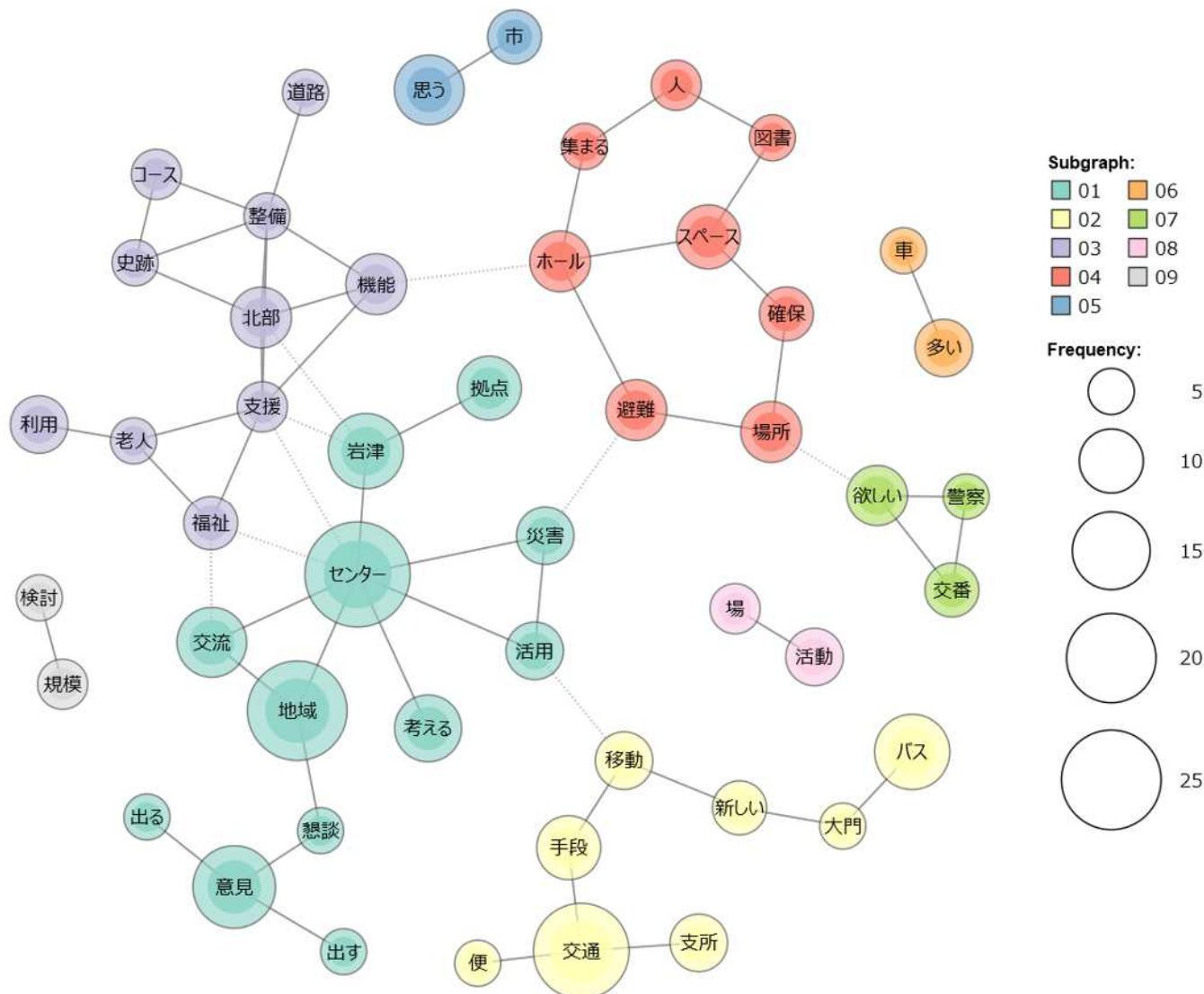
⇒スポーツ関連施設

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【第2回地域懇談会での意見に対する共起ネットワーク図】



【読み取れる特徴（グルーピング）】

- 1 : 地域の交流ができる
災害の際に活用できる
岩津の拠点となる施設
- 2 : 新しい移動手段が欲しい
- 3 : 道路、史跡、コースの整備
老人を支援する機能、福祉機能
- 4 : フリースペース、図書
避難場所の確保
人が集まるホール、スペース
- 5 : 市の考え
- 6 : 車が多い
- 7 : 警察、交番が欲しい
- 8 : 活動できる場所
- 9 : 規模感の検討

【考察、まとめ】

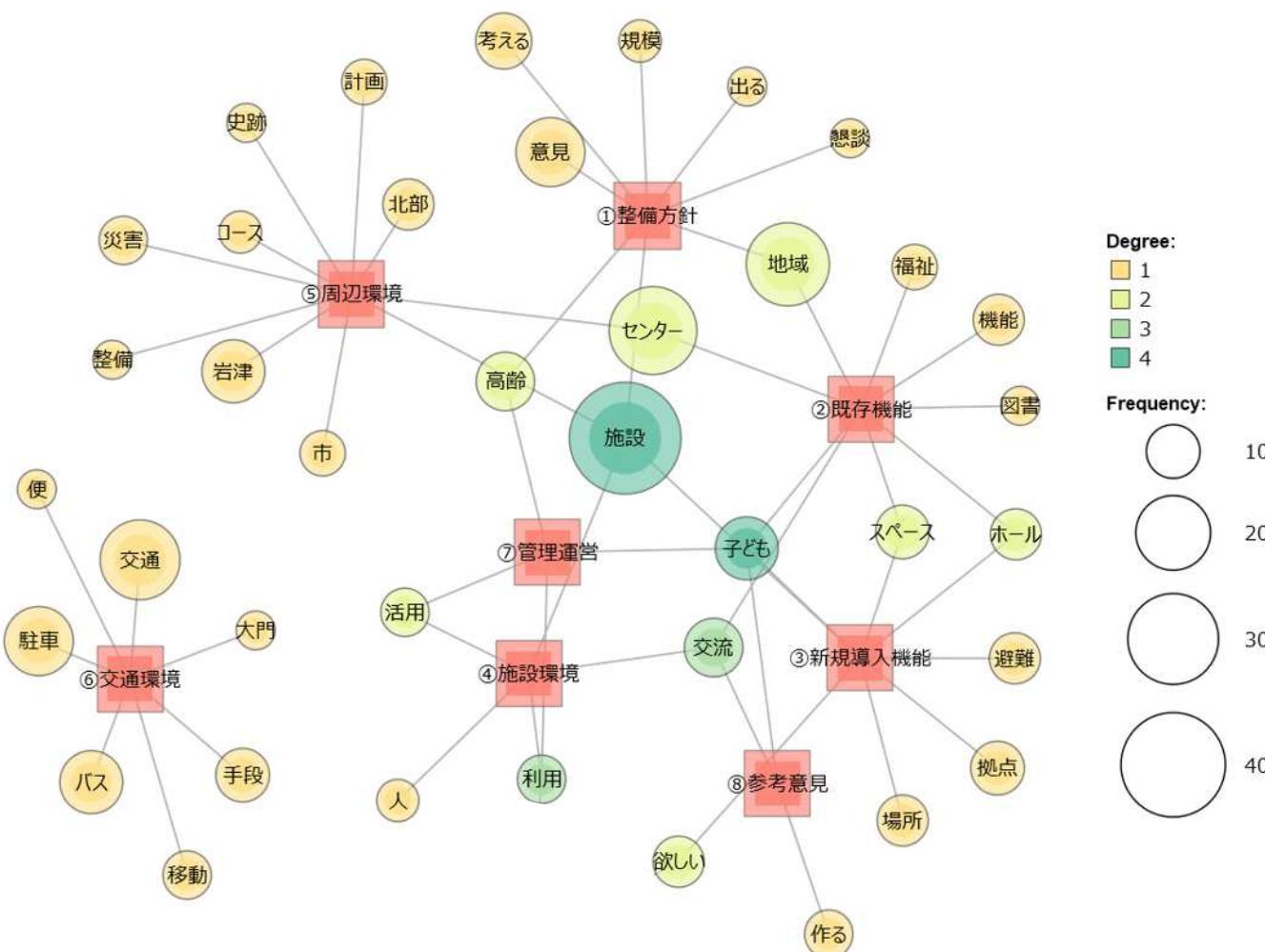
基本的に出現している意見に違いはないと考える。特徴として、子どもに関連する意見が少ないように見受けられる。子育て世代の参加が少なかった可能性が考えられる。

4. 地域活動拠点施設の整備

(5)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【第2回地域懇談会 カテゴリー別の共起ネットワーク図】



【カテゴリー別に読み取れる特徴】

基本的に共起図の大きな変化はないと考える。言葉の出現頻度が少ないものも図に現れているため、扱いには注意が必要。

以下、各カテゴリーから読み取れる特徴

①整備方針

⇒地域住民のことを考える
高齢者の施設

②既存機能

⇒図書館、福祉機能、ホール

③新規導入機能

⇒ホール、子どものスペース
避難の拠点となる場所

④施設環境

⇒交流のために利用できる

⑤周辺環境

⇒岩津地域の史跡の整備
災害、高齢者への計画

⑥交通環境

⇒公共交通手段の確保（バス・駐車場）

⑦管理運営

⇒子ども、高齢者が活用、利用

⑧参考意見

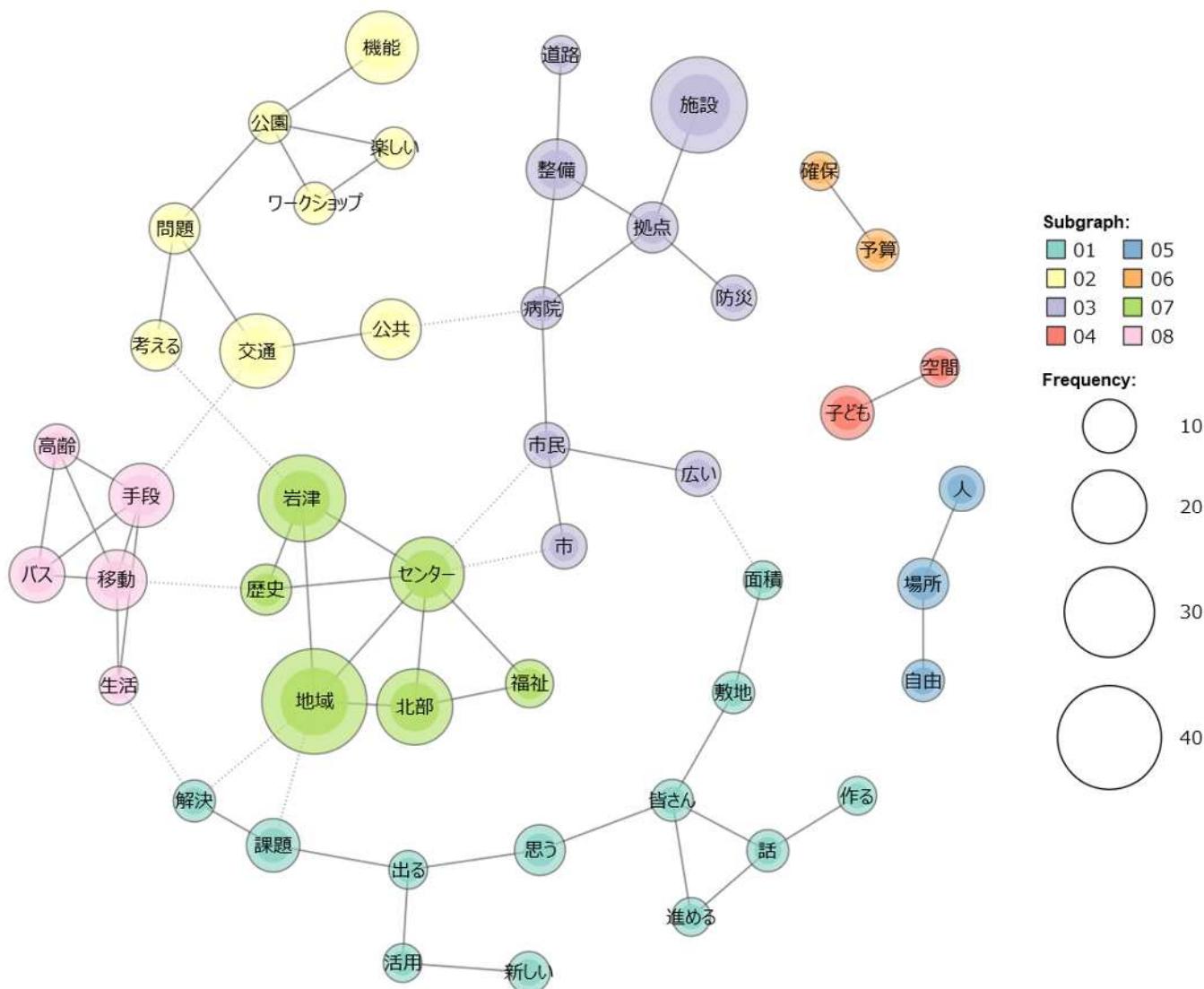
⇒子どもが交流できる場所

4. 地域活動拠点施設の整備

(4)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【第2回地域懇談会での意見に対する共起ネットワーク図】



【読み取れる特徴（グルーピング）】

- 1 : 意見にまとまりがなく分析が難しい
- 2 : 公共交通の問題を考える
- 3 : 防災拠点となる施設
道路、病院の整備
- 4 : 子どもの空間
- 5 : 自由に使える場所
- 6 : 予算の確保
- 7 : 岩津地域の歴史、福祉
- 8 : 高齢者の移動手段、生活手段

【考察、まとめ】

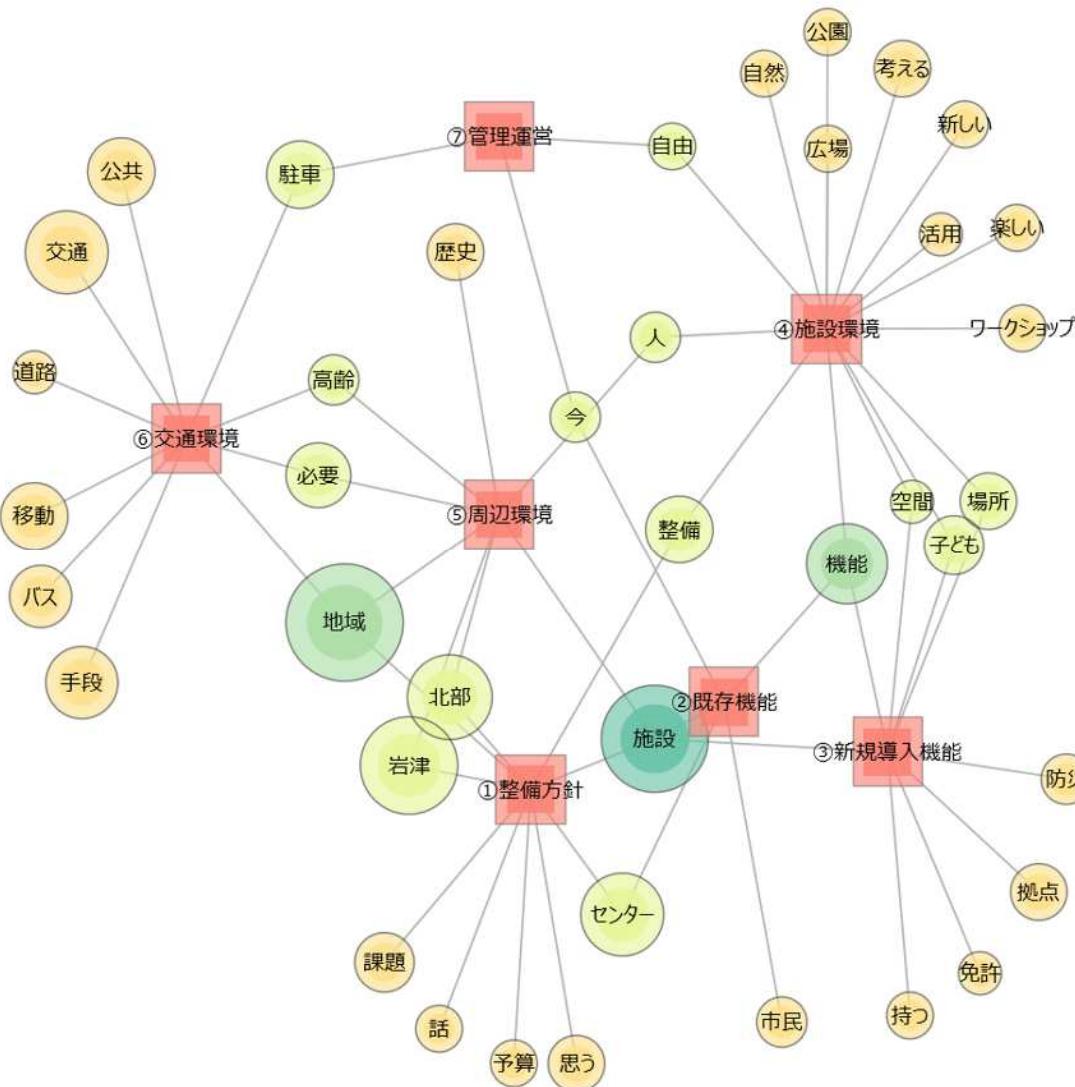
1 のグループはまとまりがないが、地域の課題解決のための施設整備に関する意見などが含まれる。基本的に出現している意見に違いはないと考える。「予算」や「病院」といった言葉は初めて出てきたものであるが、出現頻度はそこまで高くないため、扱いには注意が必要。

4. 地域活動拠点施設の整備

(4)これまでの取組

2)集約した意見の分析

【第3回地域懇談会 カテゴリー別の共起ネットワーク図】



【カテゴリー別に読み取れる特徴】

基本的に共起図の大きな変化はないと考える。言葉の出現頻度が少ないものも図に現れているため、扱いには注意が必要。

以下、各カテゴリーから読み取れる特徴

①整備方針

⇒予算や課題

②既存機能

⇒市民が利用できる機能

③新規導入機能

⇒防災拠点となる場所
子どもの場所

④施設環境

⇒新しい公園や広場、自然
子どもの空間、場所

⑤周辺環境

⇒岩津地域の課題解決が必要

⑥交通環境

⇒公共交通手段の確保（バス・駐車場）

⑦管理運営

⇒駐車場、自由な空間